



# 鴻巣市

## 基礎調査報告書



- I. 市民意識調査（定住意識等）
- II. 市民意識調査（施策別満足度重要度）
- III. 振興計画達成度
- IV. 近隣市比較調査（強み・弱み）
- V. 人口動態
- VI. 経済構造分析
- VII. 住み良さ・地域ブランド
- VIII. 子育てグループインタビュー
- IX. 不動産ヒアリング

# 目 次

I. 市民意識調査（定住意識等）	1
1 調査目的	1
2 調査概要	1
3 回答者属性	1
4 住み良さ・住み心地	2
5 定住意識	8
II. 市民意識調査（施策別満足度重要度）	12
1 調査目的	12
2 調査概要	12
3 経年変化(全体傾向)	13
4 上位下位の施策変遷	14
5 H27 時点の満足度重要度の相関	15
III. 振興計画達成度	16
1 振興計画の評価概況（平成 26 年度）	16
2 政策別のまちづくり概況	18
3 指標状況	25
IV. 近隣市比較調査（強み・弱み）	26
1 調査目的	26
2 比較対象都市	26
3 比較対象指標と分野	26
4 レーダーチャートの見方	27
5 分野別調査結果	28
6 調査結果まとめ	38
7 資料編	40
V. 人口動態	44
1 調査目的	44
2 人口・世帯数の推移	44
3 社会増減・自然増減の推移	45
4 年齢階層別人口の推移	46
5 転出入の動向(単年度)	47
6 人口推計	49
VI. 経済構造分析	50
1 鴻巣市の産業・雇用創造	50
2 鴻巣市の経済構造の推移	51
VII. 住み良さ・地域ブランド	52
1 住みよさランキング	52
2 地域ブランド調査	53
VIII. 子育てグループインタビュー	59
1 調査目的	59
2 調査概要	59
3 調査結果概要	60
IX. 不動産会社ヒアリング	62
1 調査目的	62
2 調査概要	62
3 調査結果概要	62

# I. 市民意識調査（定住意識等）

## 1 調査目的

「第5次鴻巣市総合振興計画」の策定及び執行にあたって、定住意識、住み心地等の市民意識を把握し、まちづくりの課題を明らかにするものです。

## 2 調査概要

### （1）調査の対象

市内在住の満18歳以上の市民 4,000人(無作為抽出)

### （2）配布・回収方法

郵送による調査票の配布、回収

### （3）調査期間

平成27年4月15日から平成27年5月7日

### （4）回収状況

配布数 4,000件・回収数 1,826件・回収率 45.7%

## 3 回答者属性

### （1）性別

	合計	男	女	無回答
全体	1,824 (100.0)	766 (42.0)	1,025 (56.2)	33 (1.8)

### （2）年齢

	合計	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
全体	1,824 (100.0)	153 (8.4)	169 (9.3)	203 (11.1)	248 (13.6)	306 (16.8)	155 (8.5)	212 (11.6)	345 (18.9)	33 (1.8)

### （3）居住地区

	合計	鴻巣地区 (富士見町を含む)	箕田地区	赤見台地区	田間宮地区	馬室地区	松原地区	笠原地区	常光地区	
全体	1,824 (100.0)	512 (28.1)	153 (8.4)	112 (6.1)	164 (9.0)	85 (4.7)	107 (5.9)	39 (2.1)	41 (2.2)	
		吹上本町、 筑波地区	南、吹上、吹 上富士見、 大芦地区	榎戸、荊原、 北新宿、新 宿地区	鎌塚、下忍、 袋地区	前砂、明用、 三町免、小 谷地区	屈巢地区	広田地区	共和地区	無回答
	58 (3.2)	164 (9.0)	74 (4.1)	116 (6.4)	30 (1.6)	44 (2.4)	42 (2.3)	29 (1.6)	54 (3.0)	

### （4）居住年数

	合計	生まれてから ずっと	20年以上	10年以上20 年未満	5年以上10 年未満	5年未満	無回答
全体	1,824 (100.0)	440 (24.1)	833 (45.7)	282 (15.5)	109 (6.0)	127 (7.0)	33 (1.8)

#### 4 住み良さ・住み心地

##### (1) 住み良さ

鴻巣市の住み良さ・住み心地については、「住み良い」及び「どちらかといえば住み良い」という肯定意見の合計が、51.0%となっており、約 10 年前（平成 18 年度）に比較して 17.6 ポイント増加しています。

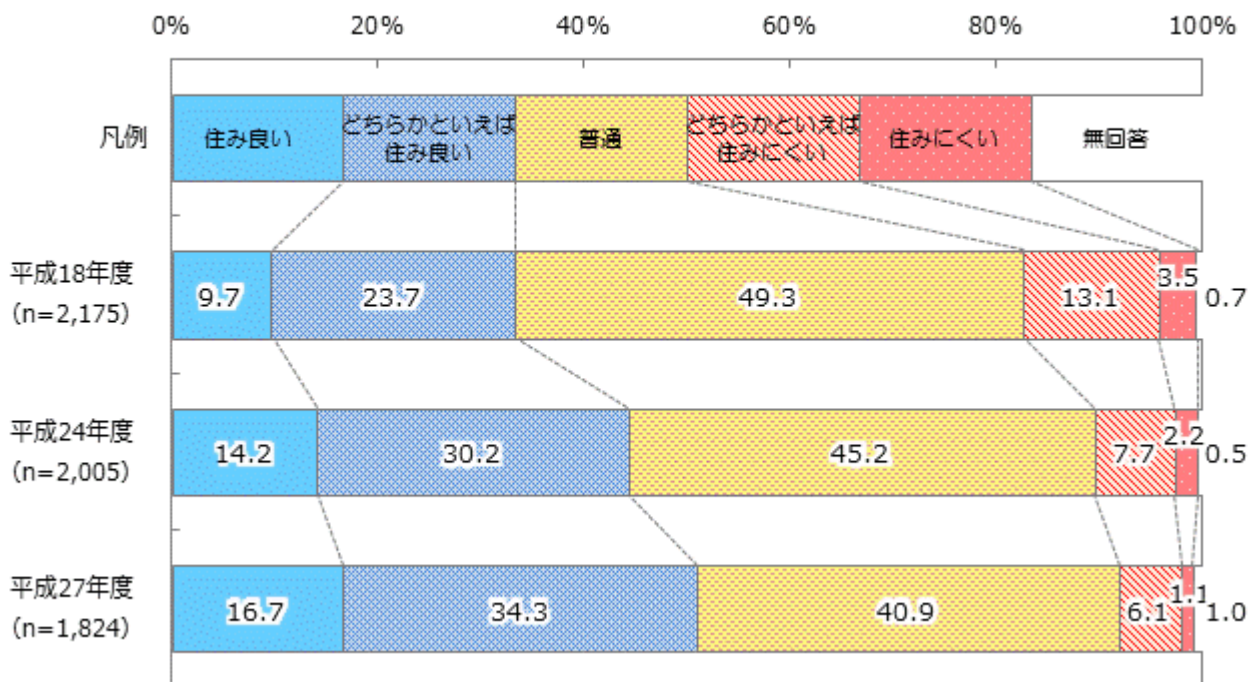
「どちらかといえば住みにくい」及び「住みにくい」の否定的意見の合計は、7.2%となっています。

##### <性別・年齢・地区別特徴>

- 20 歳未満が高評価
- 箕田地区、田間宮地区、馬室地区が高評価
- 笠原地区、共和地区が低評価

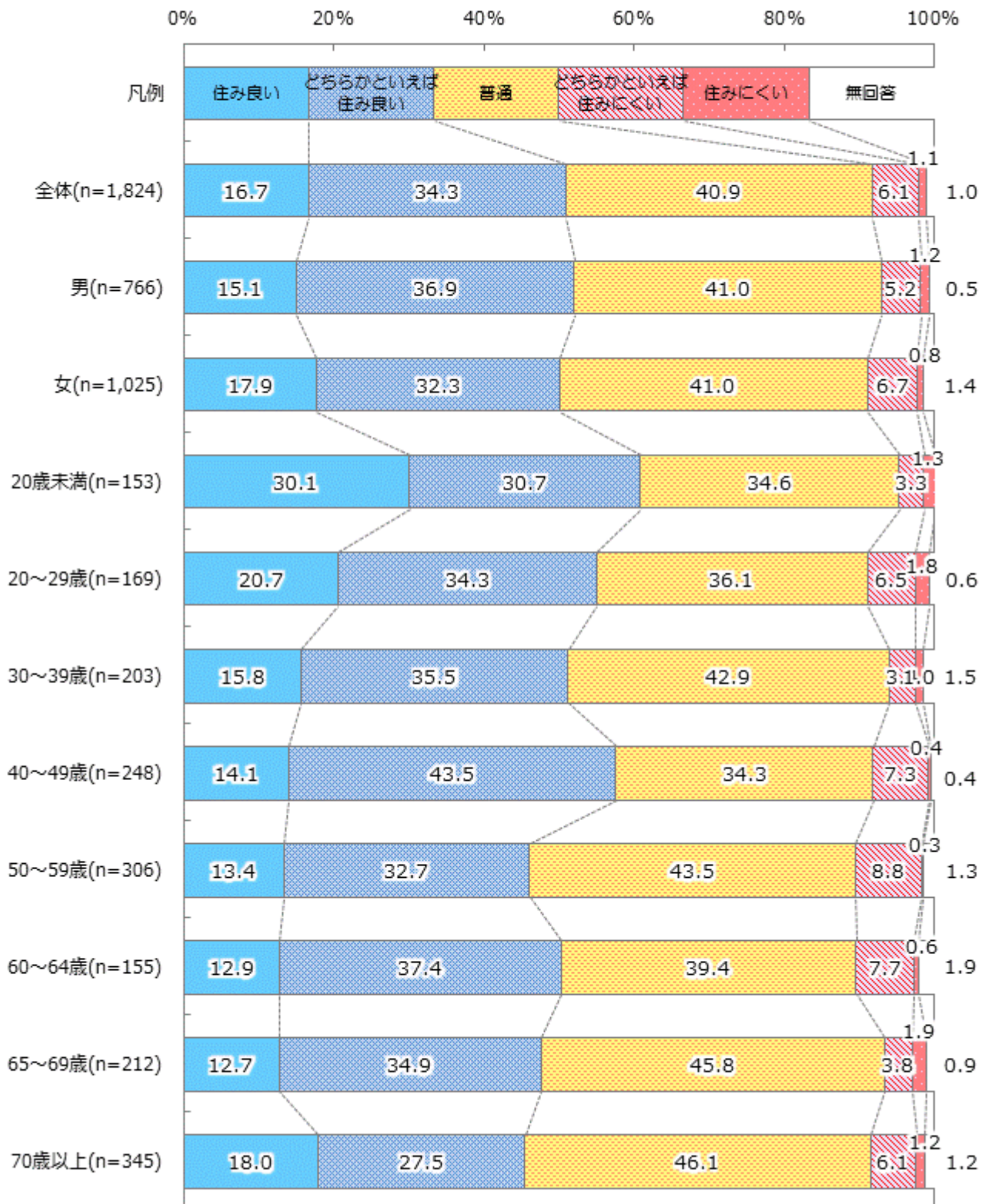
図表 I -1 鴻巣市の住み良さ

問 1. 現在の鴻巣市は、住み良いまちであると思いますか



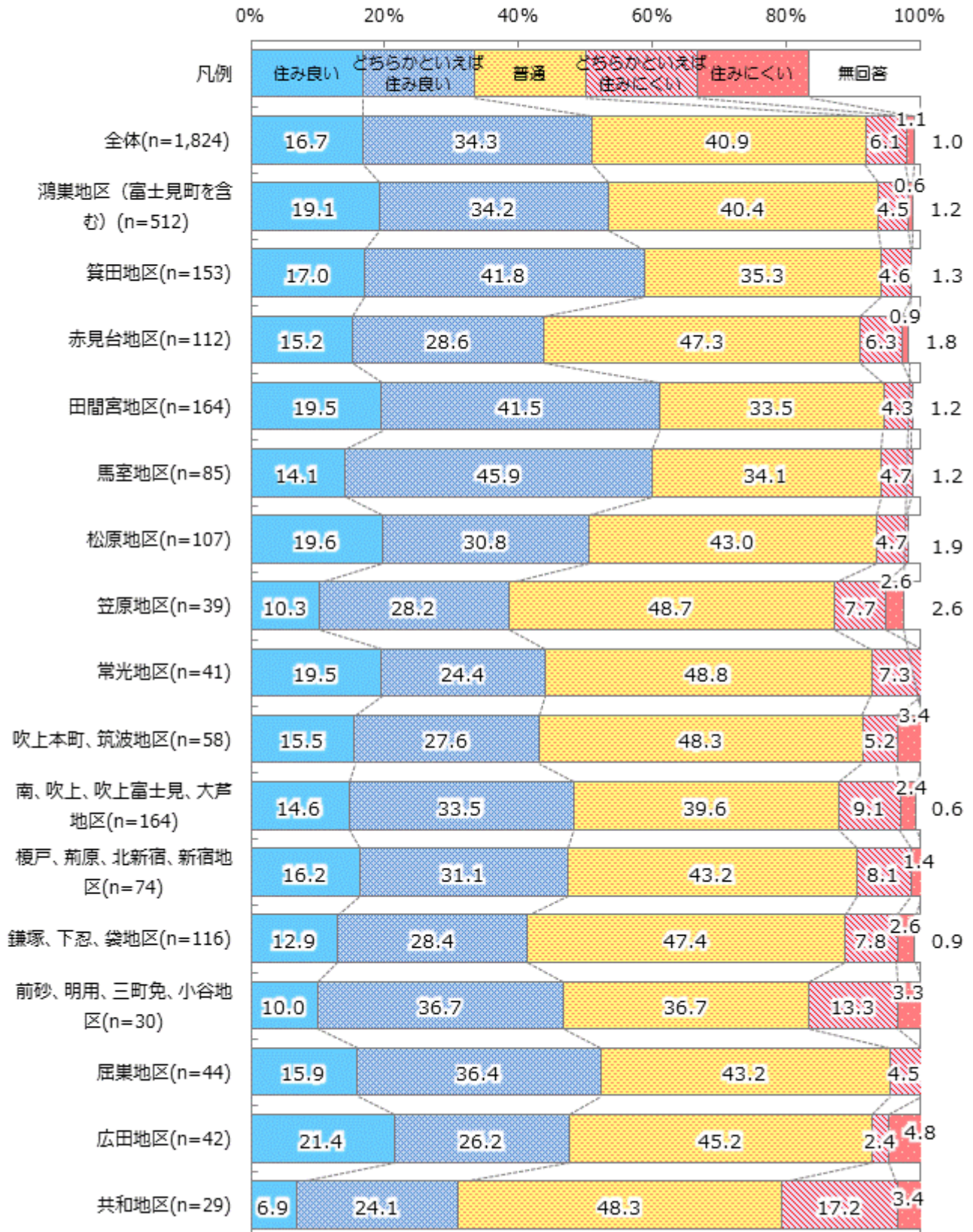
図表 I -2 鴻巣市の住み良さ（性別、年代別）

問 1. 現在の鴻巣市は、住み良いまちであると思いますか（n=1,824）



図表 I -3 鴻巣市の住み良さ（地区別）

問1. 現在の鴻巣市は、住み良いまちであると思いますか（n=1,824）



(2) 10年前との住み良さの変化

「かなり住み良くなった」及び「やや住み良くなった」という肯定意見の合計が、45.8%となっており、約10年前（平成18年度）と比較して、11.8ポイント増加しています。

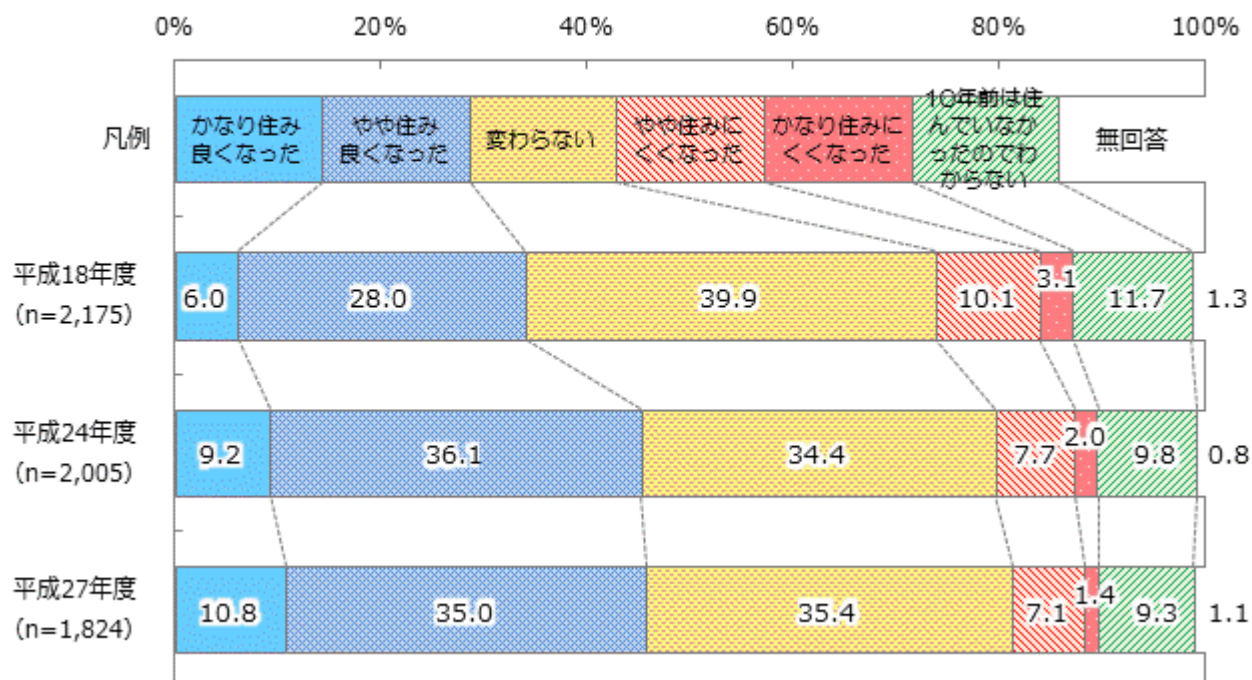
「やや住みにくくなった」及び「かなり住みにくくなった」の否定的意見の合計は、8.5%となっています。

<性別・年齢・地区別特徴>

- 20～29歳、30～39歳で、10年前に鴻巣市に居住していない方が多くなっている
- 箕田地区、田間宮地区が高評価
- 旧吹上町の各地区、広田地区、共和地区が低評価

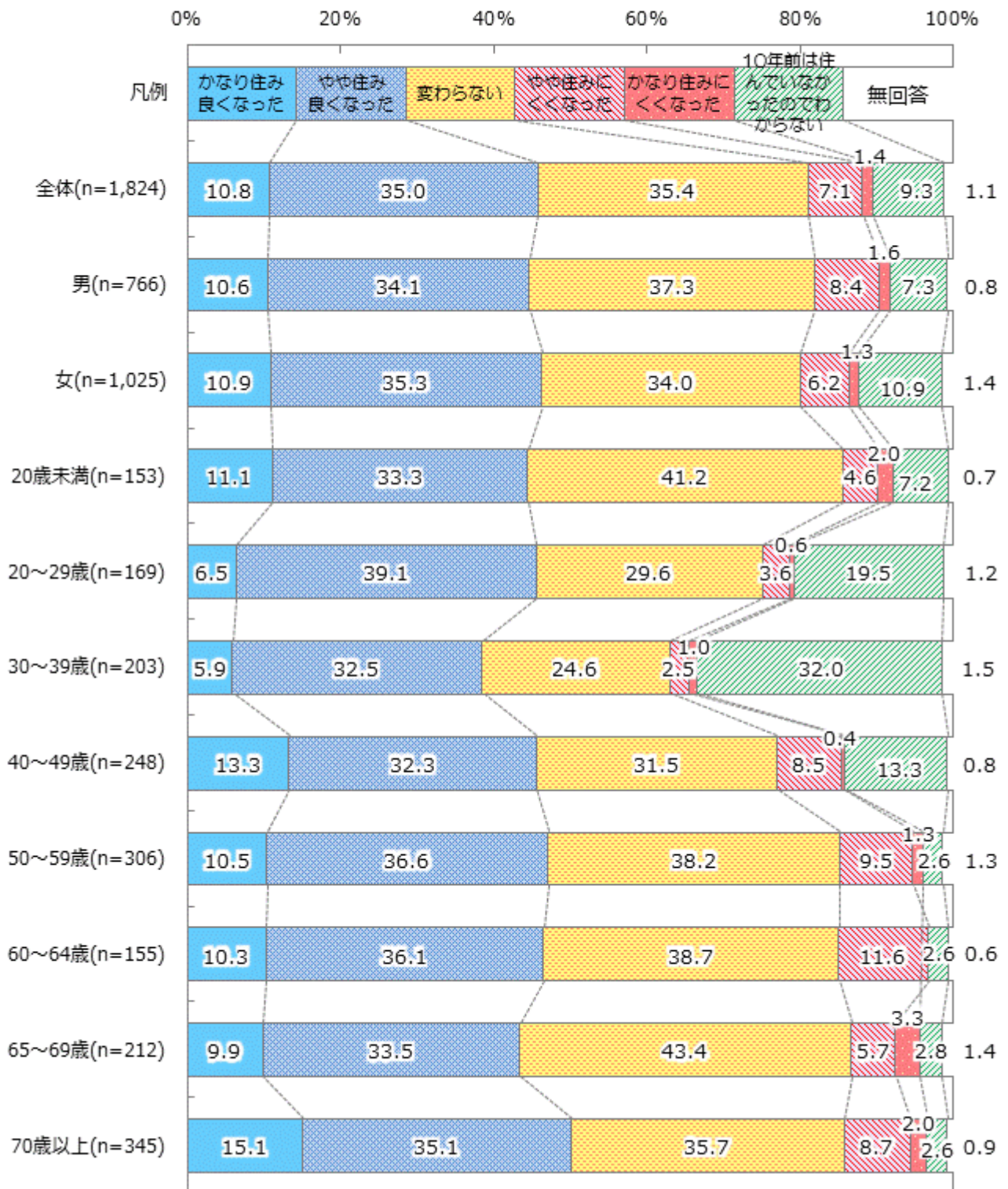
図表 I -4 鴻巣市の住み良さの変化

問2. 以前（10年くらい前）と比べて、鴻巣市は住み良いまちになりましたか（n=1,824）



図表 I -5 鴻巣市の住み良さの変化（性別、年代別）

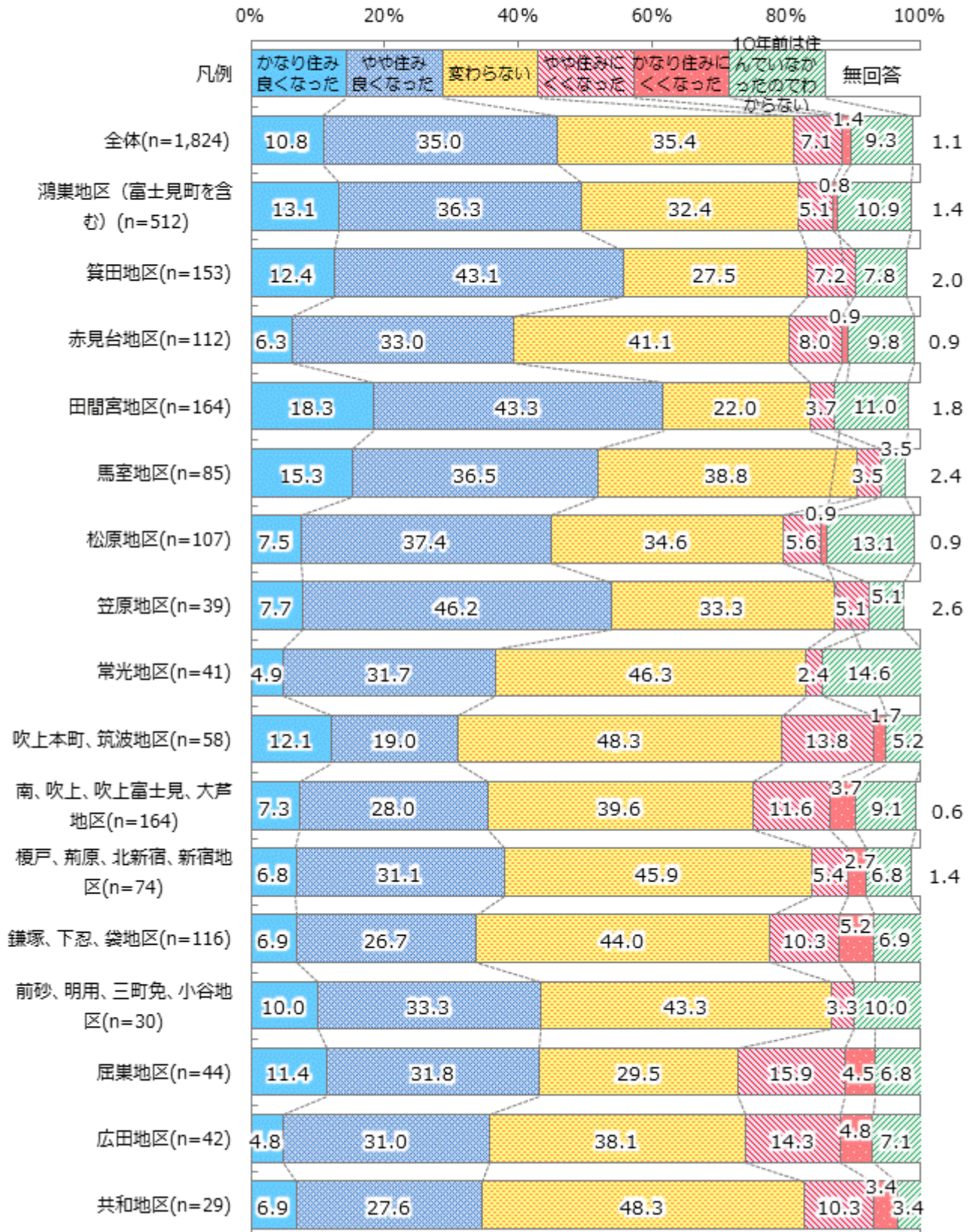
問2. 以前（10年くらい前）と比べて、鴻巣市は住み良いまちになりましたか（n=1,824）





図表 I -6 鴻巣市の住み良さの変化（地区別）

問 2. 以前（10年くらい前）と比べて、鴻巣市は住み良いまちになりましたか（n=1,824）



## 5 定住意識

### (1) 定住意識

鴻巣市への定住意識は、「ずっと住みつづけたい」及び「当分は住んでいたい」という肯定意見の合計が、67.9%となっており、約10年前に比較して、4.5ポイント高くなっています。

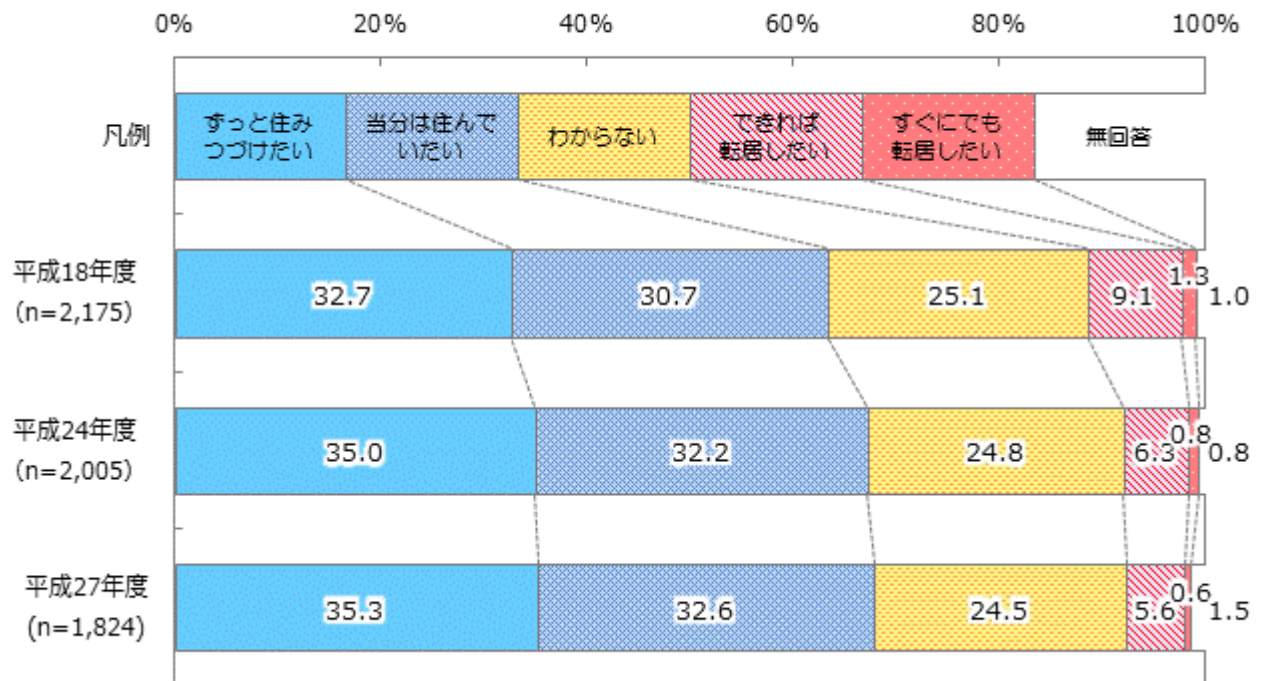
「できれば転居したい」及び「すぐにでも転居したい」の否定的意見の合計は、6.2%となっており、約10年前（平成18年度）と比較して、4.2ポイント減少しています。

#### <性別・年齢・地区別特徴>

- 女性、20-29歳で定住意識が低い（「わからない」の割合が多い）
- 70歳以上での定住意識が高い
- 赤見台地区、鎌塚、下忍、袋地区の定住意識がやや低い

図表 I-7 定住意識

問3. あなたは、鴻巣市にこれからも住みつづけたいと思いますか

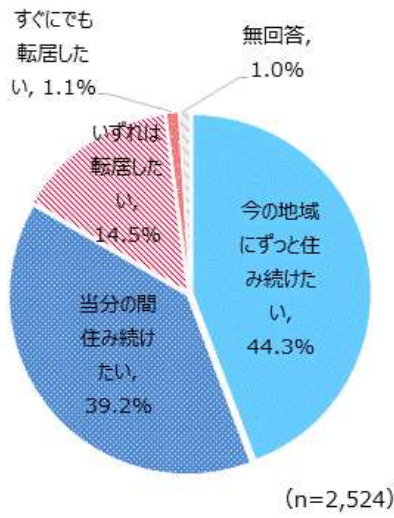


#### 【参考】近隣市との定住意識の順位

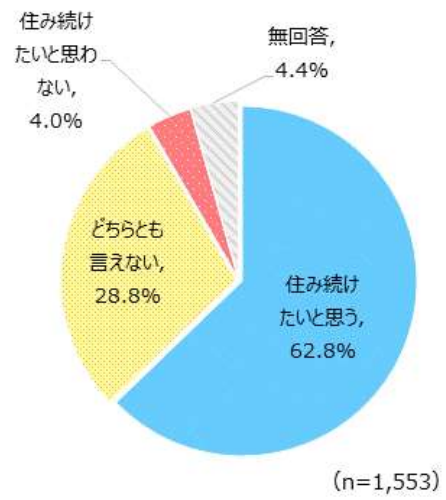
- 1位 熊谷市 84.2%
- 2位 さいたま市 83.5%
- 3位 行田市 75.4%
- 4位 鴻巣市 67.9%
- 5位 北本市 64.1%
- 6位 上尾市 62.8%

《参考》 近隣市の定住意識

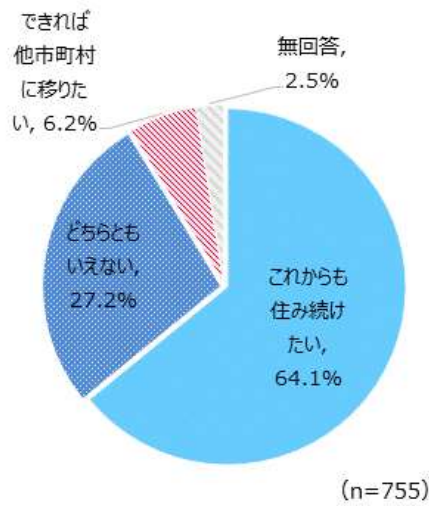
さいたま市(平成26年度)



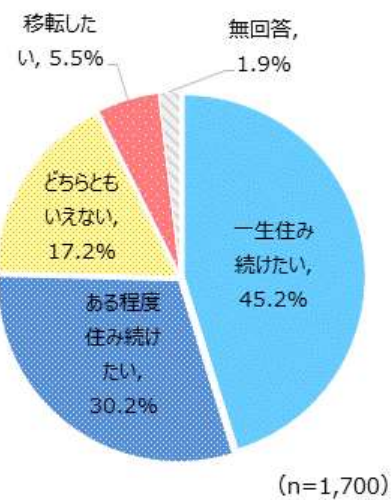
上尾市(平成25年度)



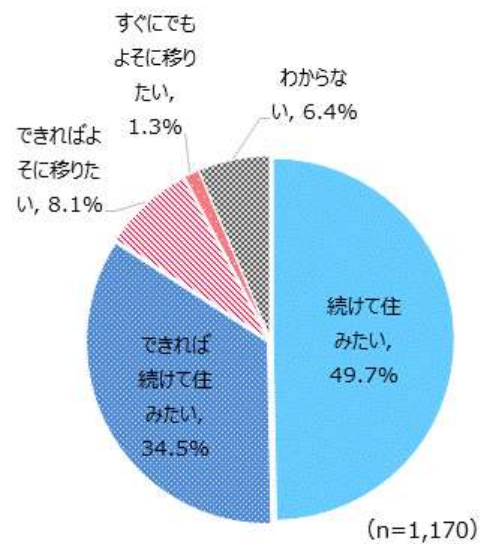
北本市(平成23年度)



行田市(平成26年度)

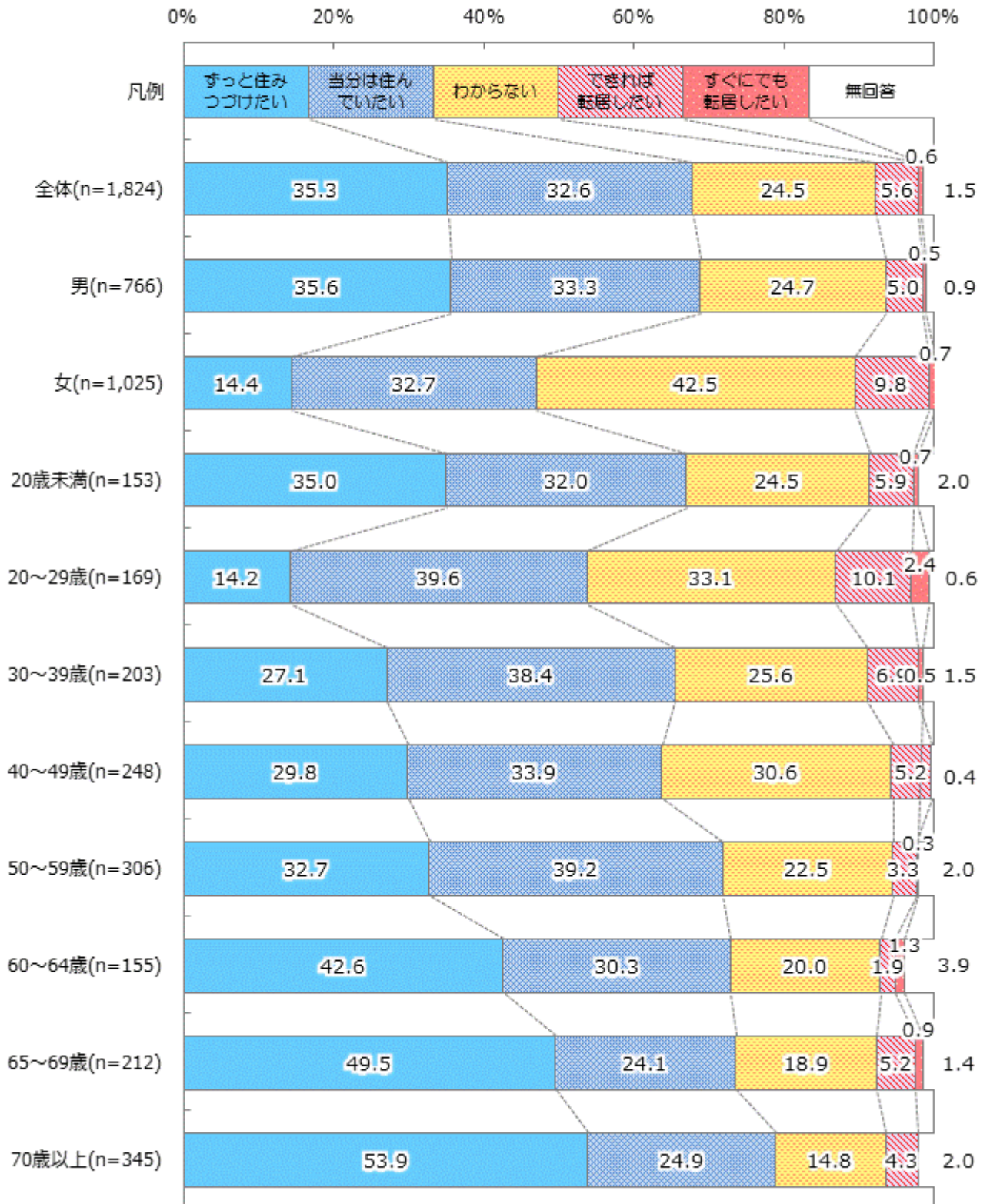


熊谷市(平成26年度)



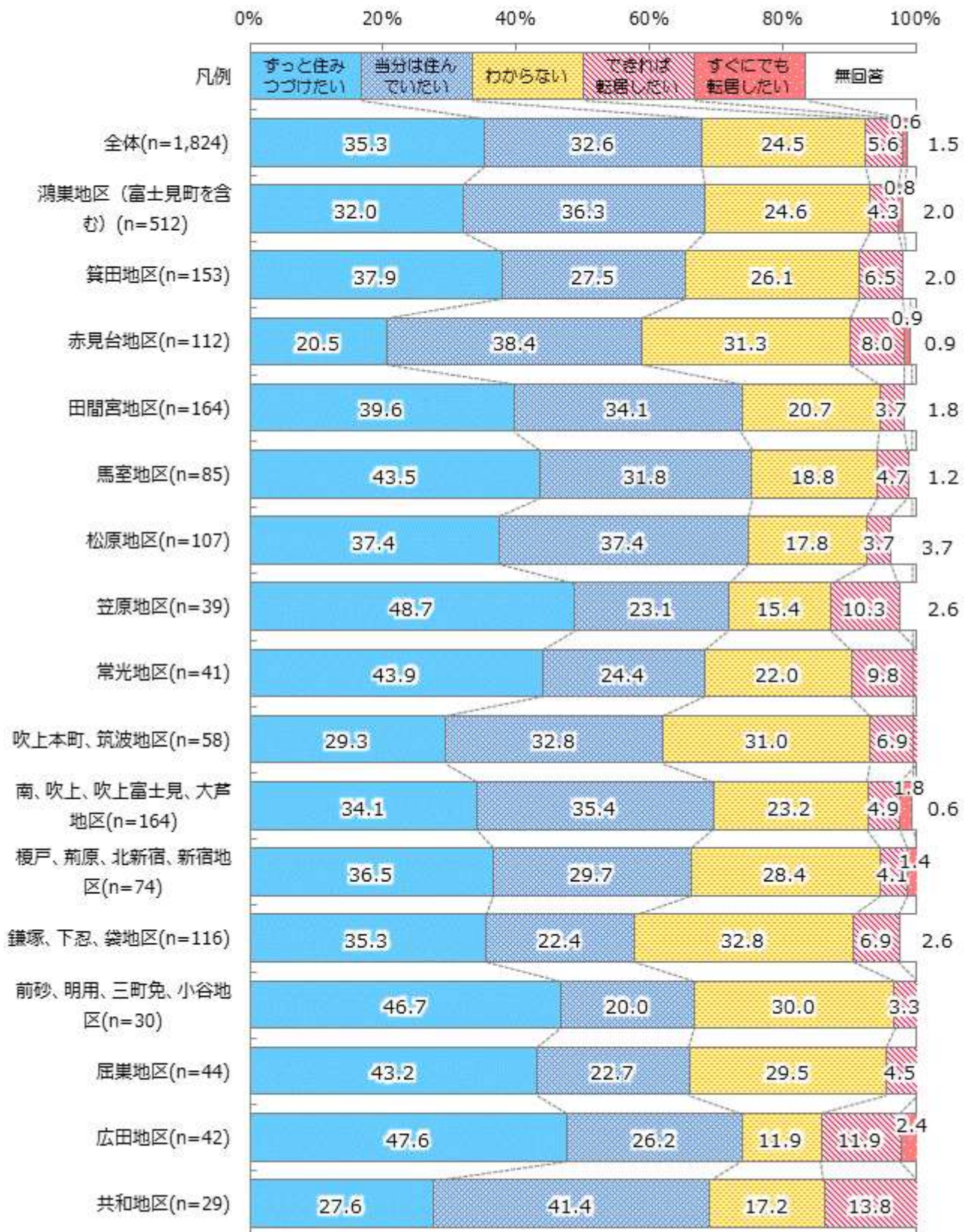
図表 I-8 定住意識（性別、年代別）

問3. あなたは、鴻巣市にこれからも住みつづけたいと思いますか（n=1,824）



図表 I -9 定住意識（（地区別）

問3. あなたは、鴻巣市にこれからも住み続けたいと思いますか（n=1,824）



## Ⅱ.市民意識調査（施策別満足度重要度）

### 1 調査目的

「第 5 次鴻巣市総合振興計画」の進捗を管理するために、施策別の満足度及び重要度を経年的に把握し、まちづくりの達成度、まちづくりの課題を明らかにするものです。

### 2 調査概要

#### （1）調査の対象

市内在住の満 18 歳以上の市民 4,000 人(無作為抽出)

#### （2）配布・回収方法

郵送による調査票の配布、回収

#### （3）調査期間

平成 27 年 4 月 15 日から平成 27 年 5 月 7 日

#### （4）回収状況

配布数 4,000 件 ・回収数 1,826 件 ・回収率 45.7%

#### （5）分析にあたって

38 施策の満足度及び重要度について、5 段階の選択肢で回答いただいております、それらの選択肢を下記の表のように、5 点満点で点数化して、分析をおこなっています。

現在の満足度		今後の重要度	
1 満足である	5点	1 力を入れて欲しい	5点
2 どちらかといえば満足である	4点	2 できれば力を入れて欲しい	4点
3 普通	3点	3 今のままでよい	3点
4 どちらかといえば不満である	2点	4 あまり力を入れる必要はない	2点
5 不満である	1点	5 力を入れる必要はない	1点
無回答（不明）	除外	無回答（不明）	除外

### 3 経年変化(全体傾向)

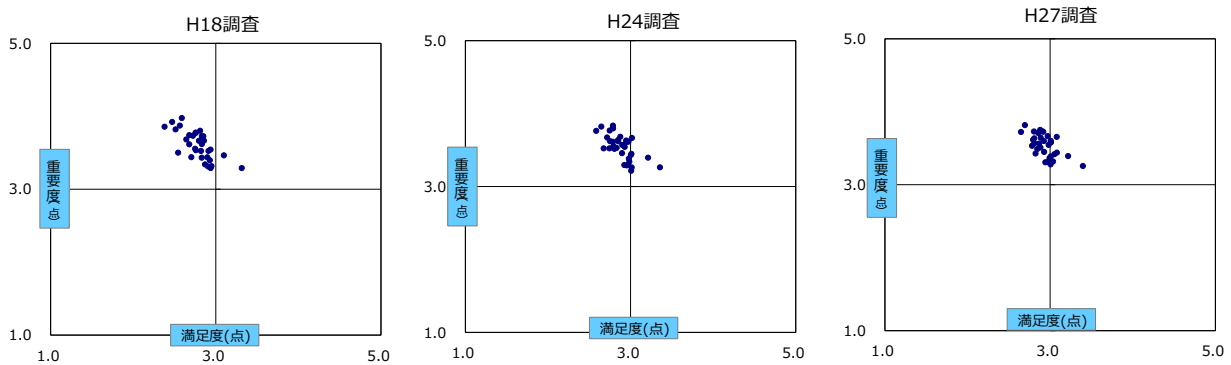
#### (1) 33 施策の分布傾向

##### ① 施策満足度の傾向

- 約10年前に比較して満足度向上 (+0.15 ポイント)  
H27 調査では、2.93 点と5点満点の中間点 3.00 点に近づく
- 33 施策の満足度のばらつきは、小さくなる傾向

##### ② 施策重要度の傾向

- 約10年前に比較して重要度低下 (▲0.06 ポイント)
- 33 施策の重要度のばらつきは、小さくなる傾向



	満足度			重要度		
	H18	H24	H27	H18	H24	H27
最大	3.31	3.36	3.40	3.98	3.83	3.82
最小	2.38	2.58	2.65	3.29	3.22	3.26
平均	2.78	2.89	2.93	3.60	3.55	3.54

※満足度、重要度とも5点満点

#### (2) 施策別満足度重要度の変化度

施策別でのH18 調査とH27 調査の2点間比較で、変化度の分析結果は下記の通り

- 全施策で満足度が向上
- 満足度が向上し、重要度が向上した施策は、下図の6 施策

H27-H18の変化度

		満足度	
		低下	向上
重要度	向上	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障の充実 (0.11 ↑)</li> <li>・農業の振興 (0.06 ↑)</li> <li>・観光の振興 (0.03 ↑)</li> <li>・人権尊重の推進 (±0)</li> <li>・コミュニティ活動の推進 (±0)</li> <li>・勤労者の就労環境の向上 (±0)</li> </ul>
	低下	なし	上記以外の27施策

( ) 内は、H18とH27の重要度の差異(向上度)

※H18 低所得者福祉の推進→H27 社会保障の充実へ変更

## 4 上位下位の施策変遷

### (1) 満足度の変遷

- 上水道の整備、下水道等の整備が過去10年間上位を占める
- H24年度以降、健康づくりの施策が3位へ上昇
- 観光の振興、道路の整備、商業の振興が下位を占め固定化

#### ■ 施策別満足度の上位下位の变遷

上位（高い）5項目【H18】			上位（高い）5項目【H24】			上位（高い）5項目【H27】		
1位	上水道の整備	3.31点	1位	上水道の整備	3.36点	1位	上水道の整備	3.40点
2位	下水道等の整備	3.10点	2位	下水道等の整備	3.21点	2位	下水道等の整備	3.22点
3位	人権尊重の推進	2.95点	3位	生活環境の整備	3.02点	3位	健康づくりの推進	3.08点
4位	市民文化の創造と交流の促進	2.94点	4位	人権尊重の推進	3.01点	4位	生活環境の整備	3.08点
5位	資源循環型社会の形成と地球環境の保全	2.94点	5位	健康づくりの推進	3.01点	5位	資源循環型社会の形成と地球環境の保全	3.05点
<b>施策満足度平均点 2.78点</b>			<b>施策満足度平均点 2.89点</b>			<b>施策満足度平均点 2.93点</b>		
下位（低い）5項目【H18】			下位（低い）5項目【H24】			下位（低い）5項目【H27】		
29位	交通環境の充実	2.56点	29位	工業の振興	2.74点	29位	交通環境の充実	2.80点
30位	観光の振興	2.54点	30位	市街地の整備	2.72点	30位	勤労者の就労環境の向上	2.79点
31位	市街地の整備	2.51点	31位	観光の振興	2.67点	31位	観光の振興	2.78点
32位	道路の整備	2.47点	32位	道路の整備	2.65点	32位	道路の整備	2.70点
33位	商業の振興	2.38点	33位	商業の振興	2.58点	33位	商業の振興	2.65点

### (2) 重要度の変遷

- 道路の整備、防犯対策の推進、交通環境の充実の重要度が10年間上位を占める
- H27年度に高齢者福祉が3位に浮上、災害対策の推進が5位に低下
- 市民文化、上水道の整備、コミュニティ活動、市民との情報共有、人権尊重で固定化

#### ■ 施策別重要度の上位下位の变遷

上位（高い）5項目【H18】			上位（高い）5項目【H24】			上位（高い）5項目【H27】		
1位	防犯対策の推進	3.98点	1位	災害対策の推進	3.83点	1位	道路の整備	3.82点
2位	道路の整備	3.92点	2位	道路の整備	3.82点	2位	防犯対策の推進	3.75点
3位	交通環境の充実	3.87点	3位	防犯対策の推進	3.80点	3位	高齢者福祉の推進	3.73点
4位	商業の振興	3.86点	4位	交通環境の充実	3.77点	4位	交通環境の充実	3.73点
5位	市街地の整備	3.82点	5位	商業の振興	3.76点	5位	災害対策の推進	3.73点
<b>施策重要後平均点 3.60点</b>			<b>施策重要後平均点 3.54点</b>			<b>施策重要後平均点 3.54点</b>		
下位（低い）5項目【H18】			下位（低い）5項目【H24】			下位（低い）5項目【H27】		
29位	市民との情報共有による市民参加の推進	3.34点	29位	市民との情報共有による市民参加の推進	3.29点	29位	人権尊重の推進	3.32点
30位	人権尊重の推進	3.32点	30位	コミュニティ活動の推進	3.29点	30位	コミュニティ活動の推進	3.31点
31位	コミュニティ活動の推進	3.31点	31位	上水道の整備	3.26点	31位	市民との情報共有による市民参加の推進	3.31点
32位	上水道の整備	3.29点	32位	人権尊重の推進	3.26点	32位	市民文化の創造と交流の促進	3.28点
33位	市民文化の創造と交流の促進	3.29点	33位	市民文化の創造と交流の促進	3.22点	33位	上水道の整備	3.26点

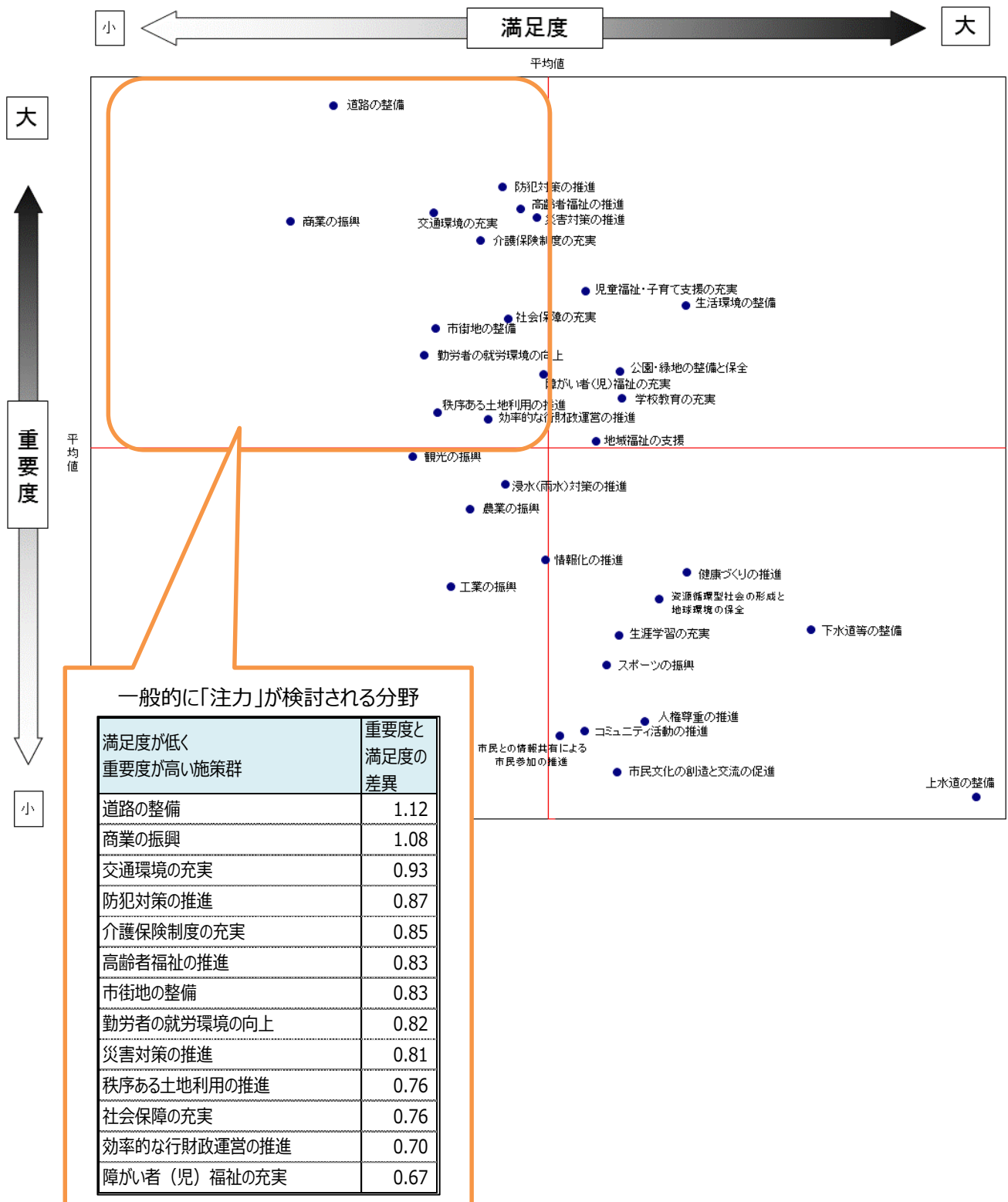


## 5 H27 時点の満足度重要度の相関

33 施策の満足度及び重要度の相関については、下図のとおりとなっています。  
限られた資源下での重点分野を検討する際には、下記視点で検討することが一般的です。

### 下図 4 象限の位置づけ×市としての影響力×可能性

本市においては、満足度が低く重要度が高い施策（重要度と満足度の差異が多い施策）は、  
下図の吹き出し内の施策のとおりとなっています。



### Ⅲ.振興計画達成度

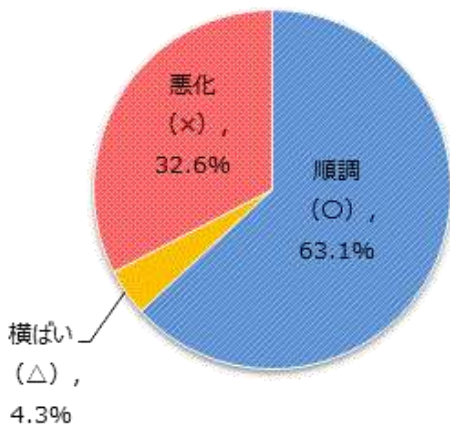
#### 1 振興計画の評価概況（平成 26 年度）

##### （1）まちづくりの進捗状況

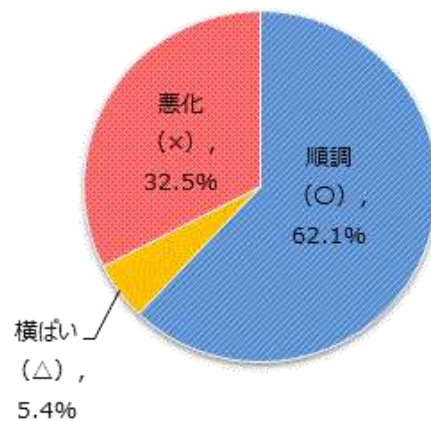
基本計画で設定した成果指標における平成 26 年度の進捗状況で、順調（○）が 174 指標（62.1%）、横ばいの（△）が 15 指標（5.4%）、悪化（×）が 91 指標（32.5%）となっています。

平成 25 年度の評価（図表Ⅲ-1）と平成 26 年度の評価（図表Ⅲ-2）を比較すると、順調および悪化の評価がやや減少し、横ばいの評価が増加していることが読み取れます。

図表Ⅲ-1 平成 25 年度の評価  
（対前年度）



図表Ⅲ-2 平成 26 年度の評価  
（対前年度）



図表Ⅲ-3 平成 26 年度の政策別評価状況(3 点満点)

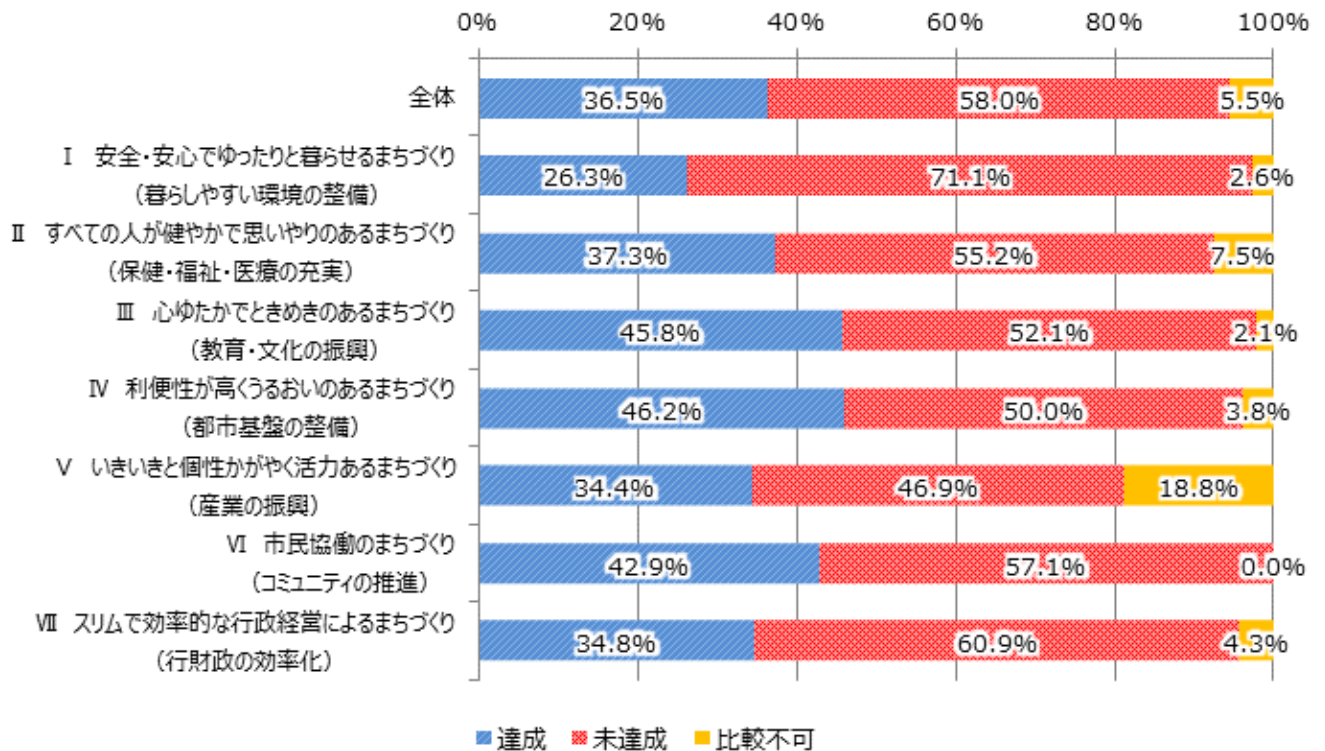
目標	政策評点	マーク
I 安全・安心でゆったりと暮らせるまちづくり	2.32	
II すべての人が健やかで思いやりのあるまちづくり	2.22	
III 心ゆたかできめきのあるまちづくり	2.33	
IV 利便性が高くうるおいのあるまちづくり	2.54	
V いきいきと個性かがやく活力あるまちづくり	2.14	
VI 市民協働のまちづくり	2.24	
VII スリムで効率的な行政経営によるまちづくり	2.36	

成果指標の評価が順調の場合は 3 点、横ばいの場合は 2 点、悪化の場合は 1 点を与え、それぞれの政策内における評点の平均点（満点は 3 点）を、お天気マークで表しています。

## (2) 後期基本計画の目標達成状況まちづくり達成度

後期基本計画における施策・基本事業の成果指標別政策別目標達成状況は、下記のとおり（図表Ⅲ－４）  
平成 26 年度時点での後期基本計画の全政策成果指標目標達成状況は、36.5%となっています。政策別では、「IV章 利便性が高くなるおいのあるまちづくり」が、46.2%で、最も達成率が高くなっています。最も達成率が低い政策は、「I 章 安全・安心でゆったりと暮らせるまちづくり」の 26.3%となっています。

図表Ⅲ－４ 後期基本計画の目標達成状況



## (参考) 評点とお天気マークの考え方

政策評点	マーク	評価	判定区分
2.6～3 点		晴れ	順調
2.2～2.6 点未満		曇りのち晴れ	改善傾向
1.8～2.2 点未満		曇り	横ばい
1.4～1.8 点未満		曇りのち雨	悪化傾向
1.4 点未満		雨	悪化

## 2 政策別のまちづくり概況

### I 安全・安心でゆったりと暮らせるまちづくり

－暮らしやすい環境の整備－（8 施策）

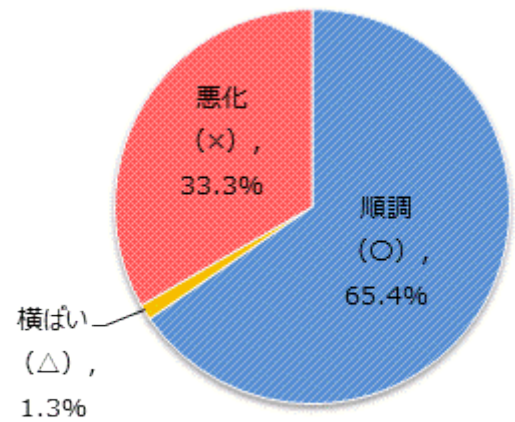
#### H26対前年度評価の改善度（順調の割合）

65.4%

#### 後期目標値（H28）の達成率

26.3%

図表Ⅲ-5 平成26年度の評価  
（対前年度）



《後期目標値（H28）を達成した成果指標》

施策名	基本事業番号	成果指標名	初期値	H26年度実績値	H28年度めざす値
生活環境の整備	'01	事業所・事業者への苦情件数	89件	36件	60件
		公害に関する違反件数	0件	0件	0件
上水道の整備	'01	年間給水制限日数	0日	0日	0日
		管路の事故割合	7.6件/100km	2.7件/100km	5.8件/100km
		水質基準不適合率	0%	0%	0%
		自己資本構成比率	81.1%	83.2%	73%
下水道等の整備	'03	職員 1 人あたり給水収益	95,422千円/人	105,837千円/人	90,000千円/人
		下水道普及率	74.8%	76.3%	75.8%
		汚水処理普及率	9.6%	10.1%	9.8%
資源循環型社会の形成と地球環境の保全	'04	転換による合併浄化槽の設置数	10基	12基	10基
		環境対策を行っている事業所の割合【独自アンケート】	27.3%	100%	60%
交通環境の充実	'01	水道使用量	1.3109m3/m2	0.9932m3/m2	1.2453m3/m2
		幹線道路の歩道整備率	30.6%	33%	32%
		カーブミラー、ガードレールなどの交通事故を防ぐ設備の充足度【市民アンケート】	66.5%	71.2%	70%
防犯対策の推進	'02	放置自転車撤去数	375件	206件	300件
		市内におけるバス路線の延べ距離数	117.48km	140.78km	118.58km
災害対策の推進	'04	登下校・校内での被害件数（犯罪に巻き込まれた件数）	0件	0件	0件
		市民、地域、行政が連携した防災体制に安心感を持っている市民の割合【市民アンケート】	68.3%	74%	73%
		災害時の支援協定数	9件	32件	20件
災害対策の推進	'03	避難所における備蓄食料（施設）整備率	88.9%	119.5%	100%

II すべての人が健やかで思いやりのあるまちづくり

－保健・福祉・医療の充実－（7 施策）

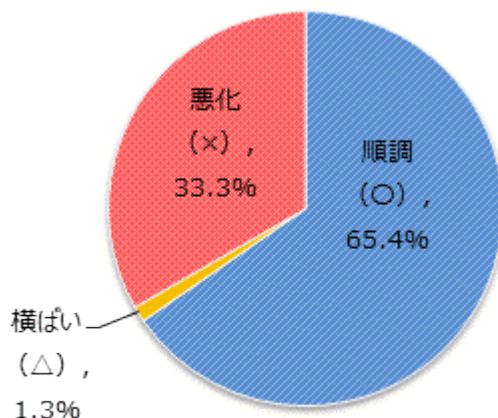
H26対前年度評価の改善度（順調の割合）

65.4%

後期目標値（H28）の達成率

37.3%

図表Ⅲ-6 平成26年度の評価  
（対前年度）



《後期目標値（H28）を達成した成果指標》

施策名	基本事業番号	成果指標名	初期値	H26年度実績値	H28年度めざそう値
健康づくりの推進	'02	健康教室への参加数	1,189人	4,588人	1,300人
	'03	妊婦健診平均受診回数	11.8回	12.5回	12回
地域福祉の支援	'01	福祉のボランティア及びNPO団体数	119団体	160団体	125団体
	'02	地区懇談会の開催回数	6回	15回	14回
児童福祉・子育て支援の充実	'01	待機児童数（幼・保）	0人	0人	0人
		学童保育待機者数	0人	0人	0人
高齢者福祉の推進	'01	日常生活支援の延べ利用者数	1,678人	1,926人	1,760人
	'02	就労している高齢者の割合【市民アンケート】	19.8%	21%	21%
	'03	高齢者虐待件数	15件	10件	10件
障がい者（児）福祉の充実	'01	在宅で生活している障がい者（児）の割合	98%	98.1%	98%
		在宅福祉事業利用者数	299人	426人	400人
		生活サポート事業利用者数	381人	481人	400人
	'02	障がい者（児）の就労者数（5年間累計）	6人	108人	30人
		障がい者（児）の就労割合	14.3%	44.6%	13%
		障がい者（児）の社会参加割合【独自アンケート】	53.4%	72.9%	60%
介護保険制度の充実	'01	新規要介護認定者出現率	2.3%	1.8%	2.5%
		2次予防を受けている方で新たに介護保険認定となった数	4人	0人	0人
	'02	苦情申立件数	2件	0件	0件
	'03	在宅サービスの延べ利用者数	20,859人	28,915人	20,000人
社会保障の充実		1人あたり医療費	288千円	321千円	332千円
		生活保護受給世帯数	457世帯	543世帯	550世帯
		市営住宅入居に占める低所得層の占める割合	81.2%	91%	90%
	'01	1人あたり医療費	288千円	321千円	332千円
		国保税収納率	91.2%	92.8%	91%
	'02	生活保護受給世帯数	457世帯	543世帯	550世帯

Ⅲ 心ゆたかできめきのあるまちづくり

－教育・文化の振興－（５施策）

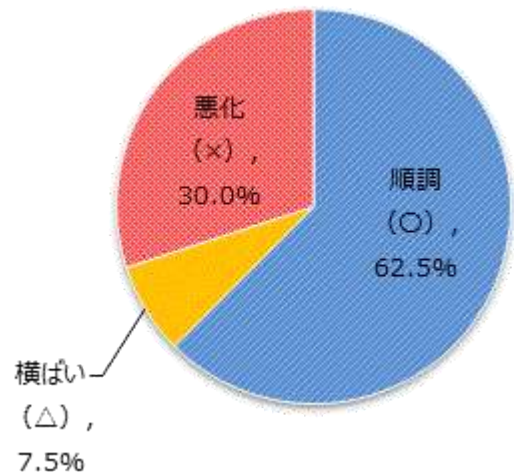
H26対前年度評価の改善度（順調の割合）

62.5%

後期目標値（H28）の達成率

45.8%

図表Ⅲ-7 平成26年度の評価  
（対前年度）



《後期目標値（H28）を達成した成果指標》

施策名	基本事業番号	成果指標名	初期値	H26年度実績値	H28年度めざそう値
学校教育の充実		学校が好きだと回答している児童生徒の割合【学校アンケート】	78.1%	87%	85% ※
	'01	学習テストの結果(児童)	95.5%	96.60%	95% ※
	'02	規律ある態度の児童の割合【学校アンケート】	81.5%	85%	82% ※
	'04	施設維持管理上の不具合による教育支障件数	0件	0件	0件
		小・中学校の耐震化率	79.8%	100%	100%
'05	学校・家庭・地域が連携していると思う保護者の割合【学校アンケート】	-%	85.7%	85%	
生涯学習の充実	'01	生涯学習事業に対する満足度【市民アンケート】	62.1%	70.4%	68%
	'02	生涯学習講座参加者数	11,182人	15,866人	12,300人
	'03	貸出者数	202,203人	261,651人	245,000人
		図書館利用者の満足度【市民アンケート】	67.5%	73.7%	71.8%
	'04	生涯学習施設の不具合による利用支障件数	2件	0件	0件
		生涯学習活動の場・施設が充足していると思う市民の割合【市民アンケート】	62.7件	70件	69件
'05	青少年健全育成活動の参加者数	1,860人	2,682人	2,500人	
スポーツの振興	'01	スポーツイベント・教室参加者数	21,260人	22,217人	22,000人
		スポーツイベントの機会が十分だと思う市民の割合【市民アンケート】	64.9%	69.9%	68%
	'02	スポーツの場・施設の充足度【市民アンケート】	56.8%	60.1%	60%
'03	総合型地域スポーツクラブ参加者数	487人	704人	700人	
市民文化の創造と交流の促進	'01	文化財貸出点数	20点	30点	20点
		保存・修復済指定文化財の延べ件数	40件	61件	56件
	'02	公民館での芸術文化事業参加者数	3,305人	4,022人	3,905人
	'03	国際交流関連団体数	7団体	7団体	7団体
人権尊重の推進	'02	相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる児童生徒の割合【学校アンケート】	82.9%	96%	83% ※

※平成26年度は、指標としている「埼玉県学習状況調査」を実施していない為、H25の数値を比較。

IV 利便性が高くなるおいのあるまちづくり

－都市基盤の整備－（4 施策）

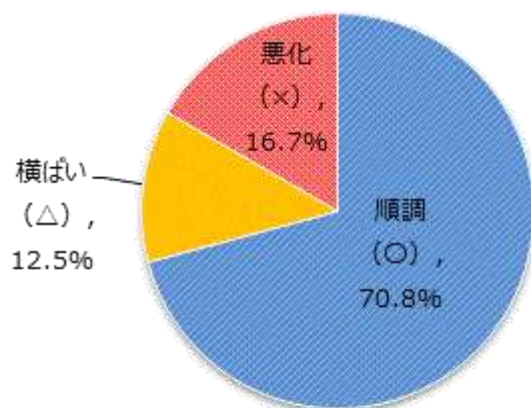
図表Ⅲ-8 平成 26 年度の評価  
(対前年度)

H26対前年度評価の改善度(順調の割合)

70.8%

後期目標値(H28)の達成率

46.2%



《後期目標値 (H28) を達成した成果指標》

施策名	基本事業番号	成果指標名	初期値	H26年度実績値	H28年度めざそう値
秩序ある土地利用の推進	'01	市街化区域内の人口	90,753人	92,534人	90,750人
	'03	地区計画・建築協定締結箇所数(5年間累計)	12箇所	14箇所	13箇所
道路の整備		生活道路の整備に関する満足度【市民アンケート】	67.3%	71.2%	70%
		主要駅へのアクセス満足度【市民アンケート】	71.1%	74.3%	73%
		国道17号へのアクセス満足度【市民アンケート】	75.1%	78.1%	76%
	'01	生活道路改良延長	2,397m	5,027.3m	2,400m
	'02	幹線道路整備延長	1,049.3m	2,967.2m	600m
浸水(雨水)対策の推進		冠水(道路浸水)箇所数	27件	25件	26件
		浸水箇所数	0件	0件	0件
		浸水被害額	0円	0円	0円
市街地の整備		人口集中地区等の定住人口	90,569人	90,804人	90,750人
	'03	土地区画整理事業の整備率	26.3%	41.1%	51.9%

V いきいきと個性かがやく活力あるまちづくり

－産業の振興－（5 施策）

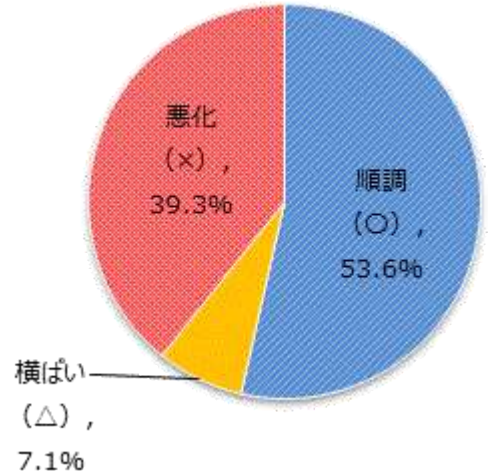
図表Ⅲ-9 平成 26 年度の評価  
(対前年度)

H26対前年度評価の改善度(順調の割合)

53.6%

後期目標値(H28)の達成率

34.4%



《後期目標値 (H28) を達成した成果指標》

施策名	基本事業番号	成果指標名	初期値	H26年度実績値	H28年度めざそう値
農業の振興		耕作放棄地となった面積（5年間累計）	16ha	8.4ha	13ha
		耕作放棄地の解消面積(5年間累計)	0.9ha	16.9ha	10ha
	'01	認定農業者数	153人	175人	165人
		農業生産法人数	16法人	20法人	20法人
	'04	鴻巣の地場生産物を購入する市民割合【独自アンケート】	97%	100%	99%
観光の振興	'01	観光入込客数	566,236人	1,228,249人	650,000人
		市外からのイベント来場者のうち、「鴻巣の4大イベント」を3つ以上知っている人の割合	27.6%	56.2%	50%
		観光イベント来客数	507,671人	1,130,858人	550,000人
	'03	'02 観光施設等の来場者数	353,648人	554,410人	450,000人
		観光ボランティアガイドによる観光案内活動回数	14回	27回	20回
		市内外イベントでの物産販売回数	19回	33回	24回



VI 市民協働のまちづくり

－コミュニティの推進－（2 政策）

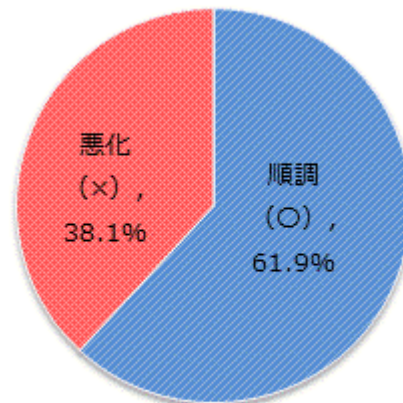
図表Ⅲ-10 平成 25 年度の評価  
(対前年度)

H26対前年度評価の改善度(順調の割合)

61.9%

後期目標値(H28)の達成率

42.9%



《後期目標値 (H28) を達成した成果指標》

施策名	基本事業番号	成果指標名	初期値	H26年度実績値	H28年度めざそう値
コミュニティ活動の推進	'02	NPO団体数	23団体	33団体	25団体
		ボランティア団体数	100団体	107団体	105団体
	'04	コミュニティ施設の不具合による利用支障件数	0件	0件	0件
市民との情報共有による市民参加の推進		市からの情報量、内容に満足している市民の割合【市民アンケート】	83.6%	85.1%	85%
		パブリックコメント実施件数	2件	11件	2件
	'01	市民の声をきくためのチャンネル数（手段数）	4個	5個	5個
	'02	ホームページのアクセス件数	624,101件	1,118,552件	500,000件
	'04	情報公開請求による公開件数	43件	154件	45件
議事録を公開している審議会等の割合		100%	100%	100%	

Ⅶ スリムで効率的な行政経営によるまちづくり

－行財政の効率化－（2 政策）

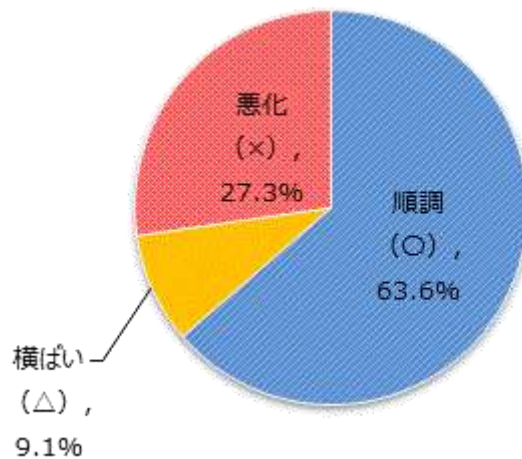
図表Ⅲ-11 平成 26 年度の評価  
(対前年度)

H26対前年度評価の改善度(順調の割合)

63.6%

後期目標値(H28)の達成率

34.8%



《後期目標値 (H28) を達成した成果指標》

施策名	基本事業番号	成果指標名	初期値	H26年度実績値	H28年度めざそう値
効率的な行財政運営の推進	'01	受講者の研修満足度【職員アンケート】	98%	98.5%	98%
	'04	実質公債費比率	7.3%	3.6%	6.8%
	'05	成果指標値が向上した事務事業割合	83.1%	89.4%	85%
	'06	広域行政で実施している事業・サービス数	42件	42件	41件
情報化の推進		I C T を利用した情報サービスが充実していると感じる市民の割合【市民アンケート】	71.6%	75%	75%
		行政が扱っている情報の漏えい事故件数	0件	0件	0件
	'03	情報システムのダウン件数	1件	0件	0件
		個人情報漏えい事故件数	0件	0件	0件

### 3 指標状況

#### (1) 特に向上した指標（後期計画開始時点との比較）

施策名	基本事業名	成果指標名	単位	H24年度実績値	H26年度実績値	H28年度めざそう値(後期)
健康づくりの推進	疾病の予防と早期発見の推進	健康教室への参加数	人	1,224.0	4,588.0	1,300.0
障がい者（児）福祉の充実	障がい者（児）の社会参加と民間組織の活用	障がい者（児）の就労者数（5年間累計）	人	45.0	108.0	30.0
学校教育の充実	健康・体力向上の推進	新体カテストの県平均を上回っている種目の割合（中2）	%	19	31	88
市民文化の創造と交流の促進	伝統文化の保護・継承	文化財貸出点数	点	17	30	20
秩序ある土地利用の推進	市街化調整区域の活用	市街化調整区域内の開発面積（5年間累計）	ha	3.5	11.8	20
浸水（雨水）対策の推進	雨水の流出抑制	流出抑制量（5年間累計）	m3	3,101	10,322	18,000
農業の振興	優良農地の確保と有効活用	農用地利用集積面積	ha	57	110.5	120
農業の振興		耕作放棄地の解消面積（5年間累計）	ha	6.3	16.9	10
市民との情報共有による市民参加の推進	広聴活動の充実	パブリックコメント実施件数	件	5	11	2
効率的な行財政運営の推進	健全な財政運営の推進	将来負担比率	%	18.8	31.9	27.7

#### (2) 特に低下した指標（後期計画開始時点との比較）

施策名	基本事業名	成果指標名	単位	初期値	H26年度実績値	H28年度めざそう値(後期)
上水道の整備	安定した水道水の供給	管路の事故割合	件/100km	2.1	2.7	5.8
下水道等の整備	適正な維持管理及び経営の安定化の推進	維持管理における公共下水道及び農業集落排水施設の不具合件数	件	16	27	20
下水道等の整備		河川における水質値（SS）	mg/ℓ	8.8	15.6	12
下水道等の整備		河川における水質値（BOD）	mg/ℓ	2.3	3.1	3
介護保険制度の充実	介護保険制度の持続運営	事業者指導実施回数	回	7	15	0
社会保障の充実	生活保護と自立への支援	自立による生活保護廃止世帯数	世帯	24	9	30
スポーツの振興	スポーツ施設の整備と有効活用	スポーツ施設の不具合による利用支障件数	件	1	8	0
道路の整備	道路の維持管理	道路維持管理上の事故件数	件	3	4	0
商業の振興	経営の支援	商工会を廃業により退会した件数	件	22	51	23
観光の振興	観光イベントの活用・推進	市外からのイベント来場者のうち、「鴻巣の4大イベント」を3つ以上知っている人の割合【独自アンケート】	%	77.7	56.2	50

## IV.近隣市比較調査（強み・弱み）

### 1 調査目的

鴻巣市では、「第 5 次鴻巣市総合振興計画」の策定にあたり、埼玉県内の近隣周辺市と比較し、本市がどのような水準にあるのかを各種統計データ（社会指標）から明らかにするものです。

### 2 比較対象都市

- さいたま市、上尾市、桶川市、北本市、熊谷市、行田市、加須市の 7 自治体
- 7 自治体及び鴻巣市の基礎データは下記のとおり

	調査年	単位	さいたま市	上尾市	桶川市	北本市	熊谷市	行田市	加須市
総面積	平成25	km <sup>2</sup>	217.49	45.55	25.26	19.84	159.88	67.37	133.47
埼玉県面積に占める面積割合	平成25	%	5.77	1.21	0.67	0.53	4.24	1.79	3.54
人口総数	平成25	人	1,253,582	228,155	75,266	68,933	202,154	85,243	115,812
埼玉県総人口に占める人口割合	平成25	%	17.20	3.13	1.03	0.95	2.77	1.17	1.59

### 3 比較対象指標と分野

次の 10 分野の 77 指標で比較を実施しました。なお各自治体の人口数が異なり、数値の大小だけでは単純に判断できない数値も多く、比率（市民ひとりあたり、人口 1 万人あたり等）を用いて、自治体規模が異なっても比較できるようにしています。

※独自に比率を算定する場合の人口、世帯については、国勢調査の実施年は国勢調査による人口、世帯数を活用し、それ以外については、住民基本台帳の人口、世帯を活用しています。ただし同一統計表内に人口が記載されている場合は、その数値を活用しています。

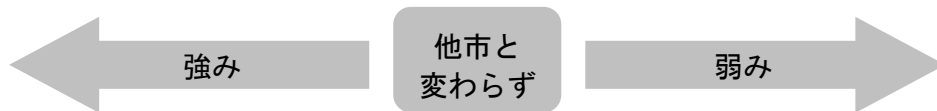
各都市の人口数値については、資料編に記載しています。

- |            |               |          |
|------------|---------------|----------|
| ◇人口・世帯構成   | ◇都市形成分野       | ◇経済基盤分野  |
| ◇にぎわい・交流分野 | ◇生活基盤分野(地価含む) | ◇安全分野    |
| ◇健康・医療分野   | ◇福祉・社会保障分野    | ◇教育・文化分野 |
| ◇行財政運営分野   |               |          |

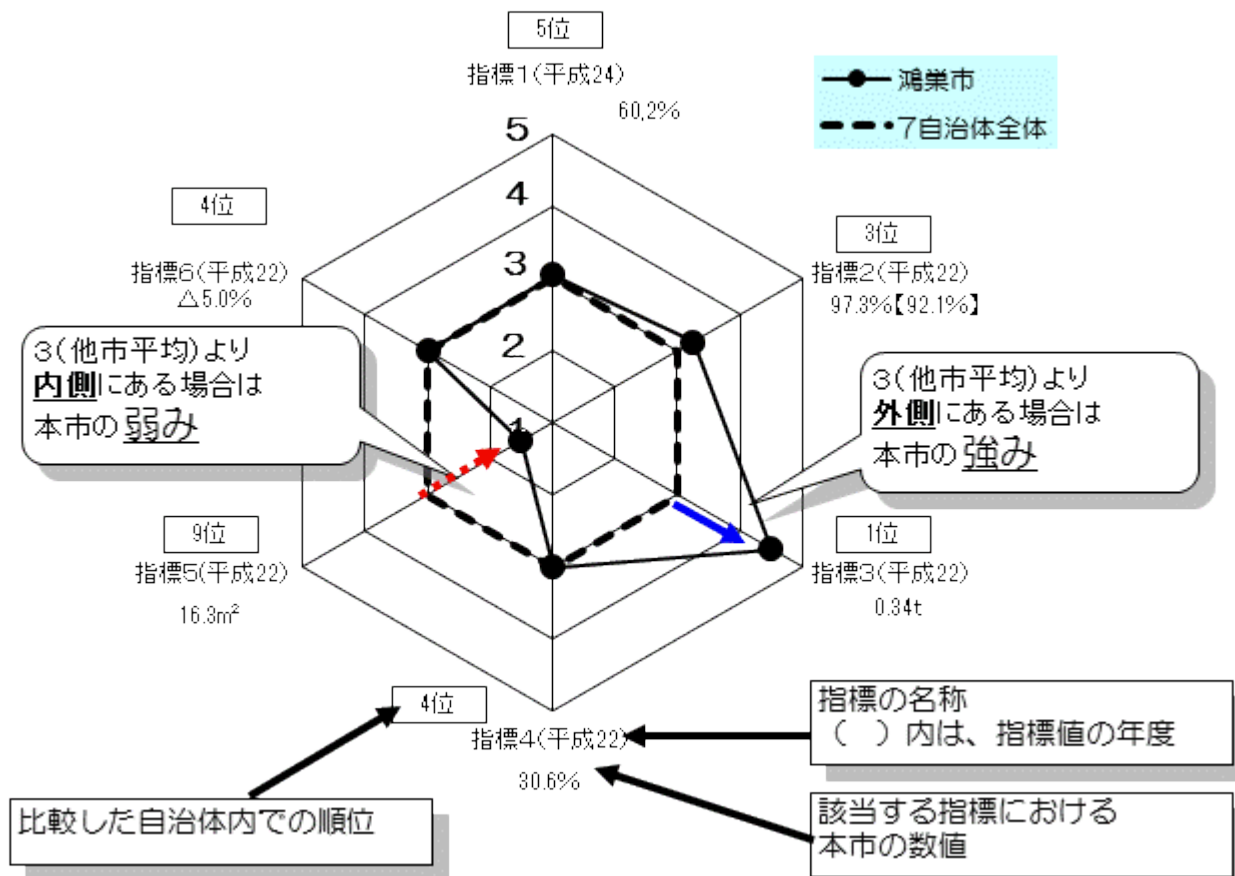
#### 4 レーダーチャートの見方

- 各統計データを偏差値化して、比較都市全体のデータを偏差値 50とした場合の本市の状況を掲載しています。また、指標が本市の『強み』となっているのか、『弱み』となっているのかをわかりやすく見ていただけるように、偏差値 50 を、「3」とした5段階評価で、グラフ化（レーダーチャート）しています。

5段階評価	5	4	3	2	1
偏差値	90	70	50	30	20



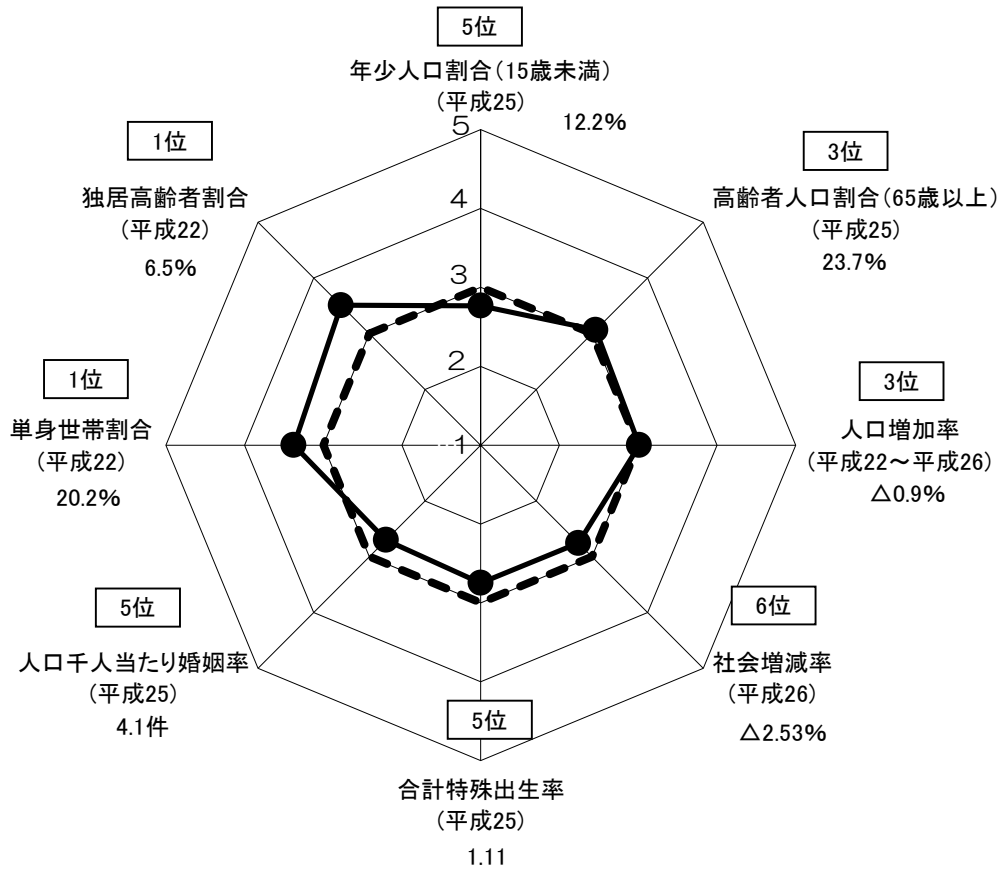
- 「3」（偏差値 50）より、外側にある項目は本市の良さ・強みを示し、内側にある項目は本市の弱みを示しています。  
※比率や数値が低い・小さいほうが望ましいと思われる項目（例：生活保護率）については、低い・小さいものを、点数（偏差値）が高くなるように設定しています。
- 社会指標名は、出典調査の名称を基本としていますが、一部については、短縮表記やわかりやすいように言い換えている指標があります。
- 順位は、7自治体全体における本市の順位を示します（上位が強み、下位が弱み）。
- 各社会指標にある数値は、本市の数値です。
- 各自治体の指標値及びデータの調査（取得）年数は、一覧表に記載しています。



## 5 分野別調査結果

### (1) 人口・世帯構成分野

- 独居高齢者、単身世帯割合が、他市よりやや少なくなっています（家族で生活している方が多い）。
- 出生率、婚姻率が、他市よりやや低い状況となっています。

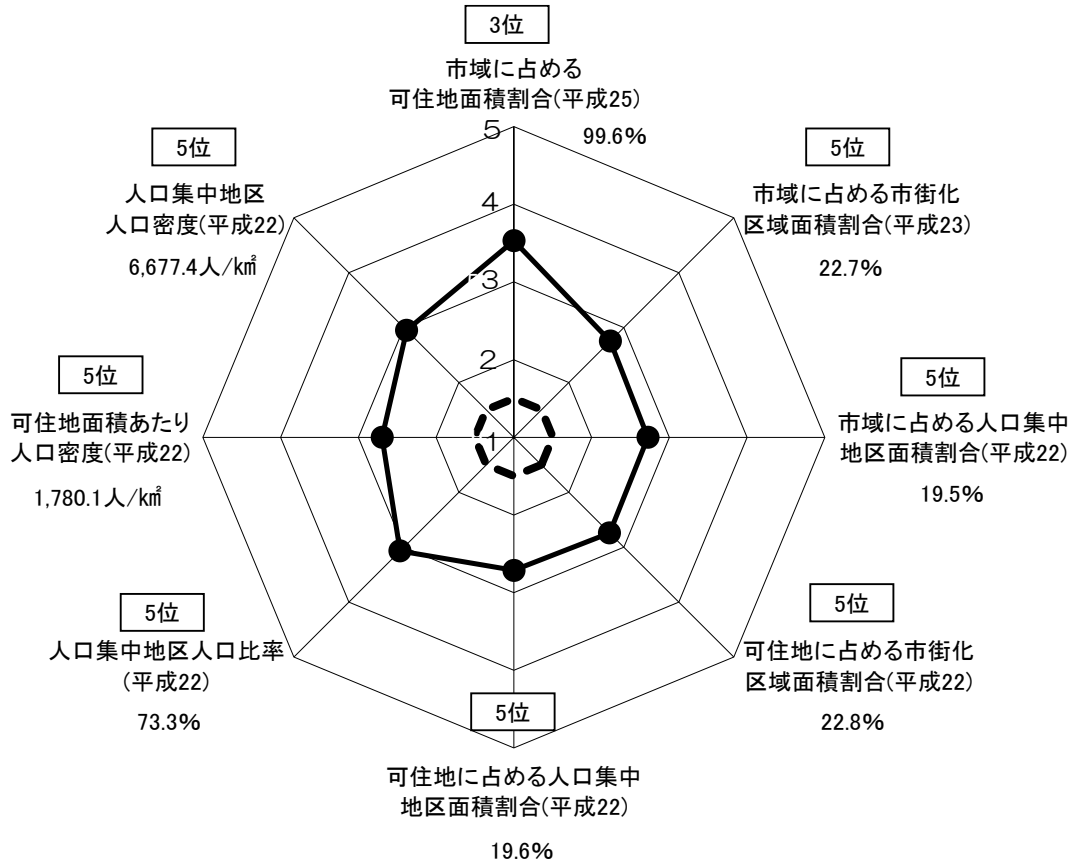


指標名	調査年	単位	鴻巣市	さいたま市	上尾市	桶川市	北本市	熊谷市	行田市	加須市	
年少人口割合 (15歳未満)	平成25	%	12.2	13.7	13.2	12.6	11.9	12.4	11.9	12.2	数値が大きいとよい指標
高年齢人口割合 (65歳以上)	平成25	%	23.7	20.8	23.5	25.0	25.4	24.3	25.4	23.3	数値が小さいとよい指標
人口増加率	平成22～平成26	%	-0.9	2.1	0.3	-1.0	-1.9	-1.4	-3.0	-2.0	数値が大きいとよい指標
社会増減率	平成26	%	-2.53	5.49	0.16	-0.64	-1.47	-0.42	-5.77	-3.17	数値が大きいとよい指標
合計特殊出生率	平成25		1.11	1.31	1.27	1.18	1.01	1.22	1.10	1.08	数値が大きいとよい指標
人口千人当たり婚姻率	平成25	件	4.1	5.5	5.1	4.4	4.0	4.6	3.9	4.0	数値が大きいとよい指標
単身世帯割合	平成22	%	20.2	31.7	24.6	21.7	21.1	25.0	20.9	18.9	数値が小さいとよい指標
独居高齢者割合	平成22	%	6.5	7.4	7.2	7.0	7.1	7.5	7.3	6.0	数値が小さいとよい指標

鴻巣市 =  1位 =  最下位 =

## (2) 都市形成分野

- 市域に占める可住地面積割合が、他市より多い状況です。
- 人口密度等は、他市に比較して若干低い傾向にあります。

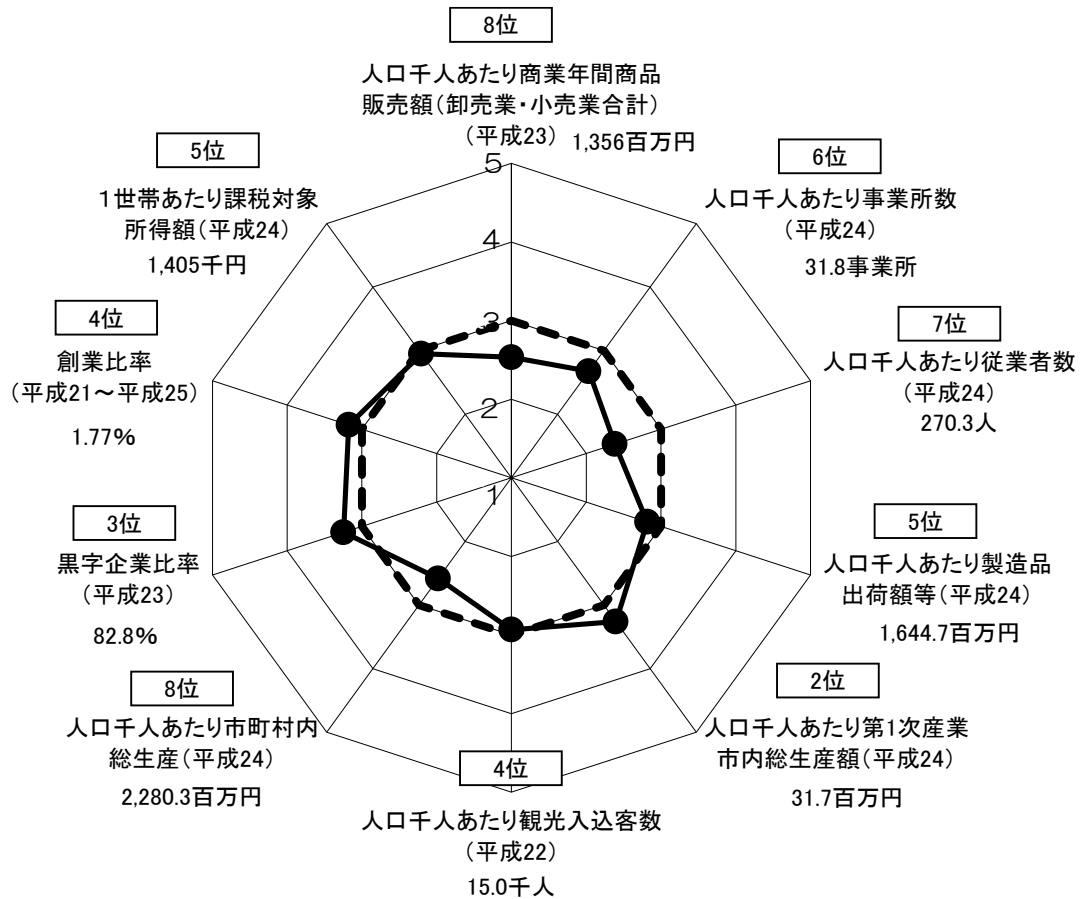


指標名	調査年	単位	鴻巣市	さいたま市	上尾市	桶川市	北本市	熊谷市	行田市	加須市	数値が大きいとよい指標
市域に占める可住地面積割合	平成25	%	99.6	97.9	95.3	96.7	96.1	96.8	99.9	99.9	数値が大きいとよい指標
市域に占める市街化区域面積割合	平成23	%	22.7	53.3	55.3	32.4	36.3	16.3	17.2	10.5	数値が大きいとよい指標
市域に占める人口集中地区面積割合	平成22	%	19.5	53.6	54.9	30.7	38.9	13.6	15.3	6.2	数値が大きいとよい指標
可住地に占める市街化区域面積割合	平成22	%	22.8	54.4	58.1	33.5	37.8	16.8	17.2	10.5	数値が大きいとよい指標
可住地に占める人口集中地区面積割合	平成22	%	19.6	54.8	57.6	31.7	40.4	14.1	15.3	6.2	数値が大きいとよい指標
人口集中地区人口比率	平成22	%	73.3	92.1	88.8	81.1	79.0	55.0	59.3	38.8	数値が大きいとよい指標
可住地面積あたり人口密度	平成22	人/km <sup>2</sup>	1,780.1	5,743.4	5,159.6	3,059.4	3,612.4	1,312.5	1,274.5	862.6	数値が大きいとよい指標
人口集中地区人口密度	平成22	人/km <sup>2</sup>	6,677.4	9,661.4	7,949.5	7,816.8	7,056.2	5,131.0	4,940.1	5,398.5	数値が大きいとよい指標

鴻巣市 =  1位 =  最下位 =

### (3) 経済基盤分野

- 経済基盤については、第1次産業以外は、他市同等または低い傾向にあります。
- 人口千人あたり市町村内総生産は、比較8自治体中最下位となっています。
- 黒字企業比率、創業比率は、他市より若干高い傾向にあります。



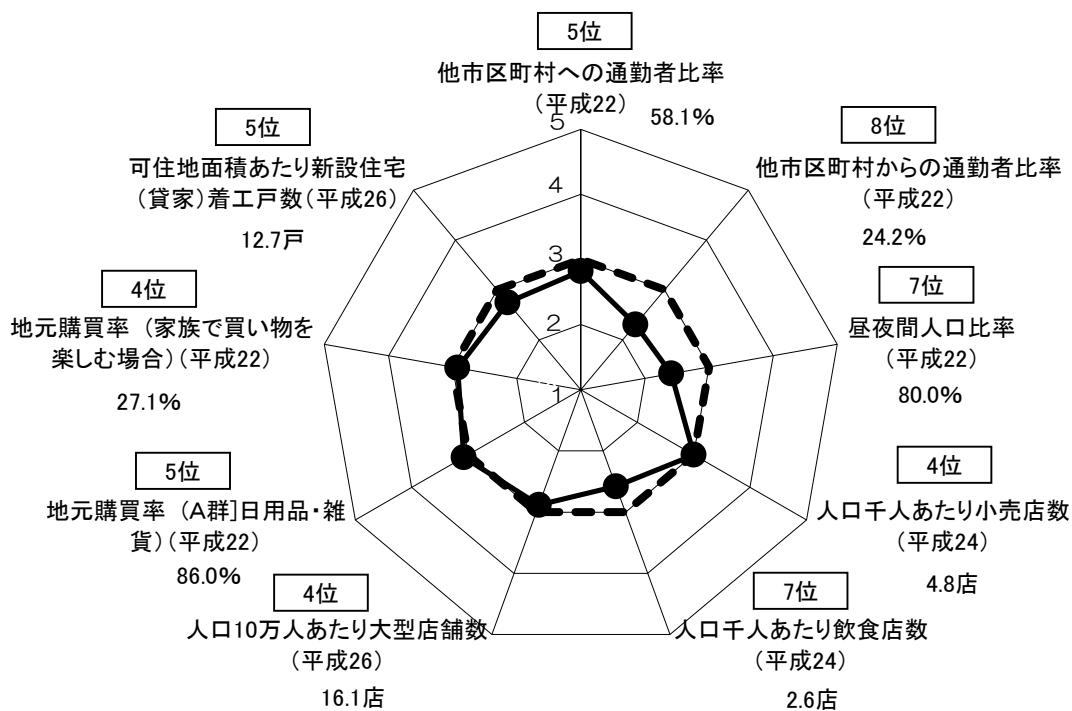
指標名	調査年	単位	鴻巣市	さいたま市	上尾市	桶川市	北本市	熊谷市	行田市	加須市	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり商業年間商品販売額(卸売業・小売業合計)	平成23	百万円	1,356	4,034	2,012	2,023	1,454	3,086	1,551	1,822	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり事業所数	平成24	事業所	31.8	35.8	29.1	32.4	28.7	44.4	42.4	38.5	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり従業者数	平成24	人	270.3	395.1	295.8	323.6	264.0	436.5	387.3	385.6	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり製造品出荷額等	平成24	百万円	1,644.7	660.7	1,720.9	1,458.7	1,164.3	4,516.6	2,653.3	2,612.7	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり第1次産業市内総生産額	平成24	百万円	31.7	4.8	7.5	12.0	9.5	24.9	28.8	61.2	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり観光入込客数	平成22	千人	15.0	17.5	8.9	14.4	10.1	25.0	13.3	21.5	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり市町村内総生産	平成24	%	2,280.3	3,363.2	2,505.9	2,492.9	2,308.8	4,812.4	2,819.4	2,884.1	数値が大きいとよい指標
黒字企業比率	平成22	%	82.8	81.1	81.3	82.0	82.2	83.0	81.3	84.5	数値が大きいとよい指標
創業比率	平成21～平成25	%	1.77	2.23	1.93	1.60	1.46	1.80	1.09	1.33	数値が大きいとよい指標
1世帯あたり課税対象所得額	平成24	千円	1,405	1,720	1,449	1,436	1,419	1,373	1,267	1,274	数値が大きいとよい指標

鴻巣市 =  1位 =  最下位 =



#### (4) にぎわい・交流分野

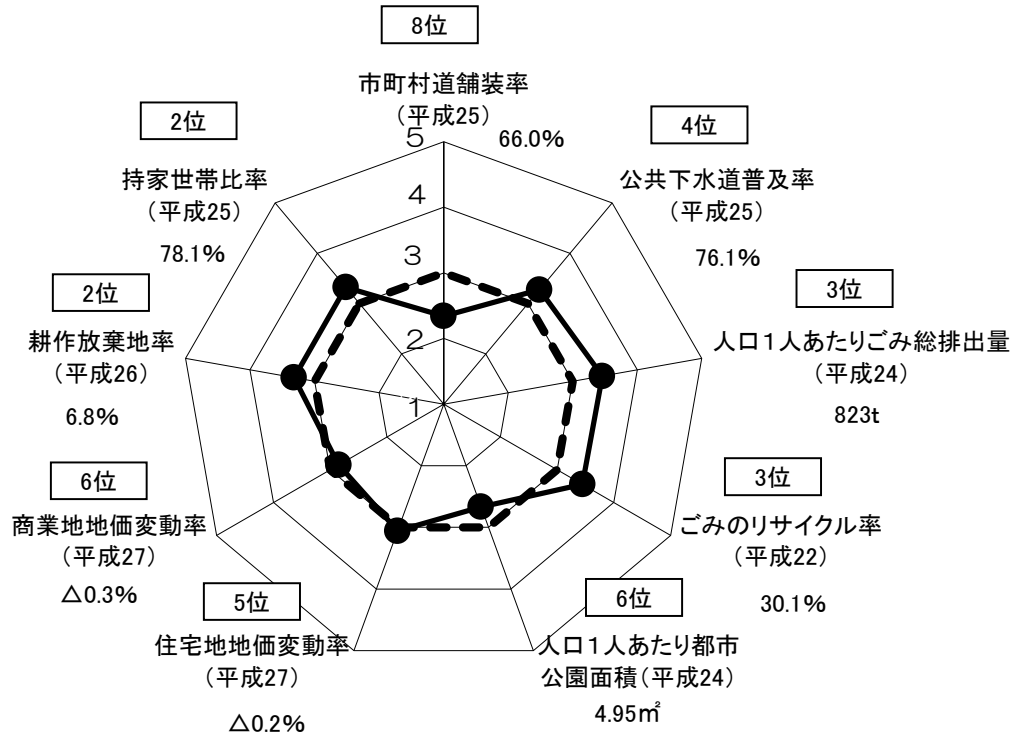
- 他市町村からの通勤者比率が少なく（最下位）、市外への通勤通学者が多く、昼間のにぎわいが少なくなっています(昼夜間比率 80.0%)。
- 人口千人あたり飲食店数が、8自治体中7位でやや少ない状況です。



鴻巣市 =  1位 =  最下位 =

### (5) 生活基盤分野(地価含む)

- 市町村道舗装率が、比較8自治体中最下位となっています。
- 公共下水道整備率、ごみ排出量、リサイクル率の環境関連は、比較都市よりやや良い状況です。
- 人口ひとりあたり都市公園面積は、比較都市よりやや低い状況です。
- 耕作放棄地率は、比較都市より少なくなっています。

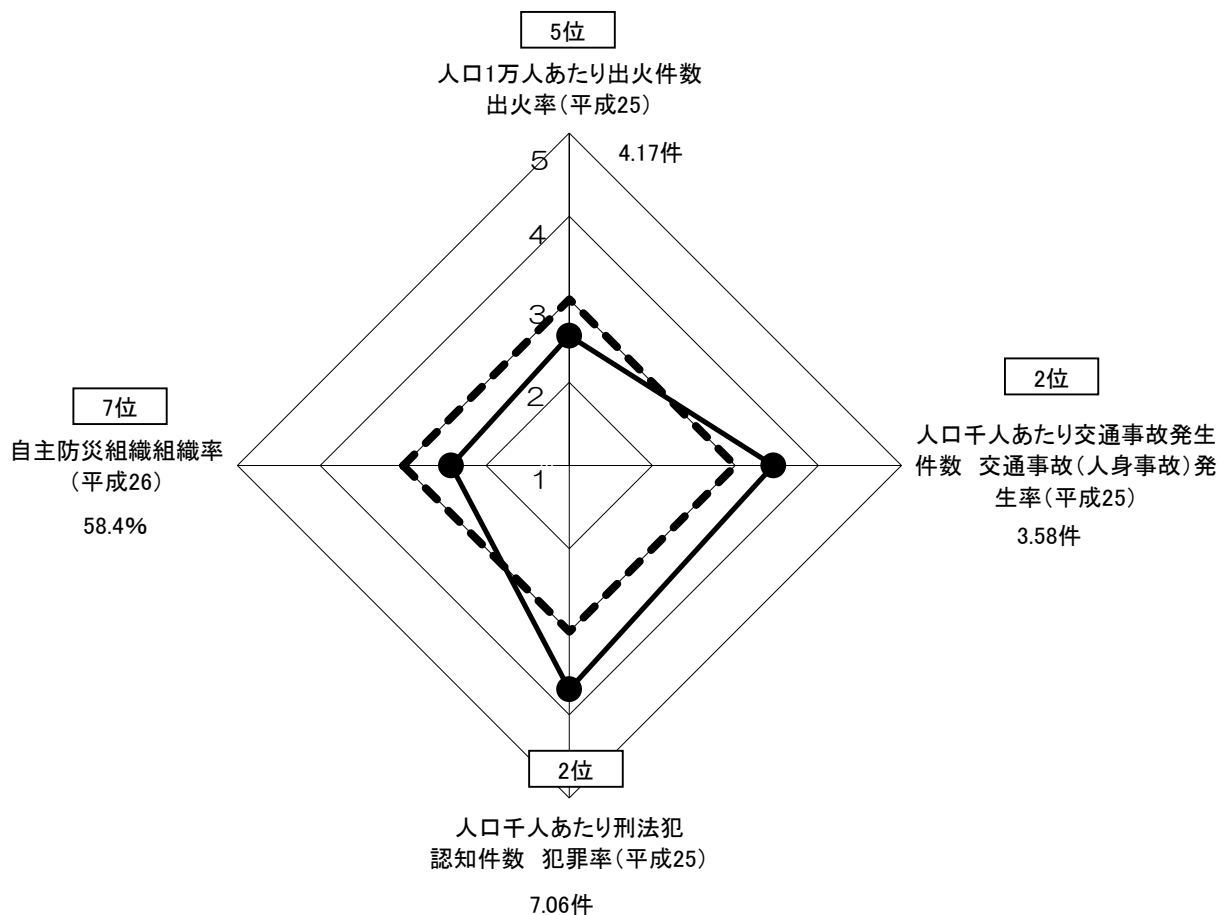


指標名	調査年	単位	鴻巣市	さいたま市	上尾市	桶川市	北本市	熊谷市	行田市	加須市	
市町村道舗装率	平成25	%	66.0	82.6	86.0	80.7	74.8	72.7	69.5	68.0	数値が大きいとよい指標
公共下水道普及率	平成25	%	76.1	90.9	78.0	77.0	72.4	43.1	54.0	47.1	数値が大きいとよい指標
人口1人あたりごみ総排出量	平成24	t	823	946	905	789	812	1,159	976	1,054	数値が小さいとよい指標
ごみのリサイクル率	平成22	%	30.1	22.5	21.3	31.8	28.9	22.8	22.5	31.0	数値が大きいとよい指標
人口1人あたり都市公園面積	平成24	㎡	4.95	5.10	3.87	2.73	9.97	24.01	12.68	10.97	数値が大きいとよい指標
住宅地地価変動率	平成27	%	-0.2	0.9	0.6	0.3	0.2	-1.0	-2.3	-1.0	数値が大きいとよい指標
商業地地価変動率	平成27	%	-0.3	2.0	0.6	0.4	0.0	0.3	-1.6	-1.3	数値が大きいとよい指標
耕作放棄地率	平成22	%	6.8	9.5	24.3	41.5	11.1	10.6	2.2	8.8	数値が小さいとよい指標
持家世帯比率	平成25	%	78.1	60.1	64.0	74.8	72.8	75.9	77.4	84.0	数値が大きいとよい指標

鴻巣市 =  1位 =  最下位 =

## (6) 安全分野

- 交通事故、犯罪ともに、比較8自治体中2位となり、良好な状況となっています。
- 出火件数は、比較都市ではやや多い状況です。
- 自主防災組織の組織率は、比較8自治体中7位の58.4%で低い状況です。

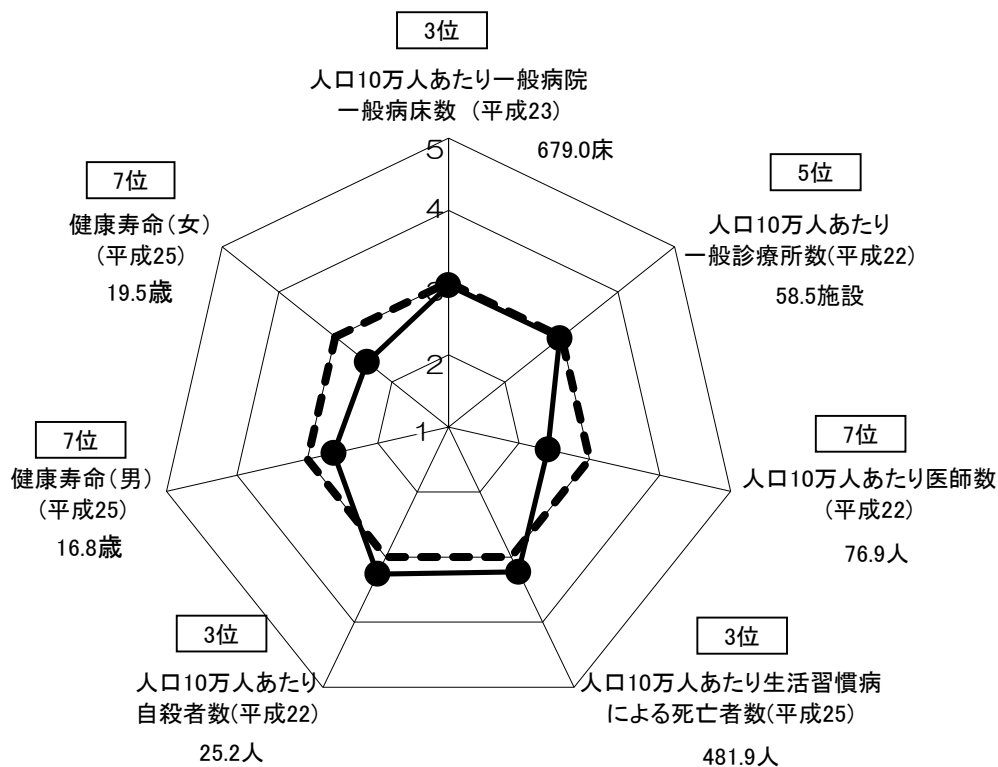


指標名	調査年	単位	鴻巣市	さいたま市	上尾市	桶川市	北本市	熊谷市	行田市	加須市	
人口1万人あたり 出火件数 出火率	平成25	件	4.17	2.80	4.18	4.64	2.89	3.60	2.45	3.53	数値が小さいと よい指標
人口千人あたり交通事故 発生件数 交通事故(人 身事故)発生率	平成25	件	3.58	4.35	5.06	4.59	3.09	5.22	5.98	3.54	数値が小さいと よい指標
人口千人あたり刑法犯 認知件数 犯罪率	平成25	件	7.06	11.83	12.32	10.36	7.03	10.78	8.57	9.53	数値が小さいと よい指標
自主防災組織組織率	平成26	%	58.4	90.3	100.0	94.7	55.5	66.7	100.0	66.2	数値が大きいと よい指標

鴻巣市 =  1位 =  最下位 =

## (7) 健康・医療分野

- 人口10万人あたり医師数は、比較8自治体中7位で少ない状況です。
- 健康寿命は、男女ともに比較8自治体中7位で低くなっています。



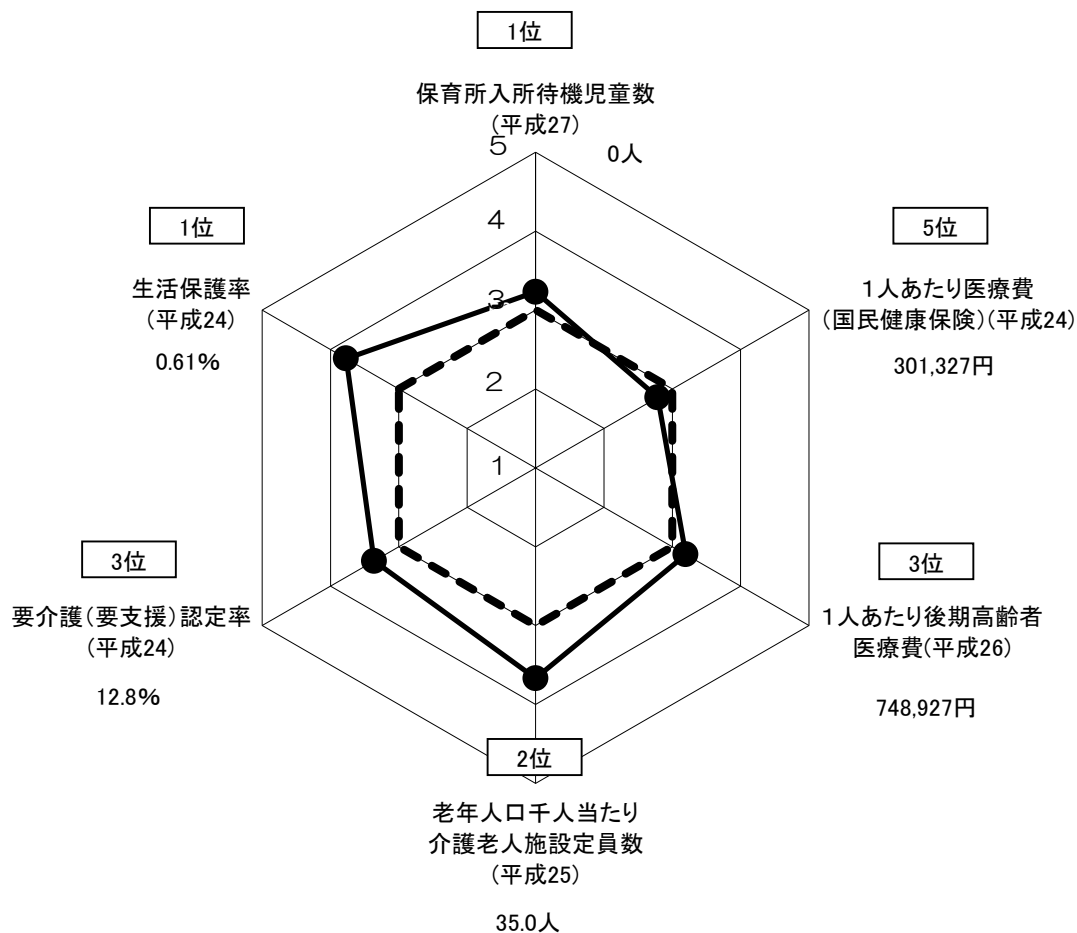
指標名	調査年	単位	鴻巣市	さいたま市	上尾市	桶川市	北本市	熊谷市	行田市	加須市	数値が大きいとよい指標
人口10万人あたり一般病院一般病床数	平成23	床	679.0	646.8	598.0	354.0	916.1	1,159.8	667.8	551.6	数値が大きいとよい指標
人口10万人あたり一般診療所数	平成22	施設	58.5	69.1	46.9	58.9	62.4	78.3	54.8	44.3	数値が大きいとよい指標
人口10万人あたり医師数	平成22	人	76.9	160.7	123.3	99.0	180.0	147.7	99.1	74.8	数値が大きいとよい指標
人口10万人あたり生活習慣病による死亡者数	平成25	人	481.9	416.9	434.4	508.9	542.6	557.0	538.5	569.9	数値が小さいとよい指標
人口10万人あたり自殺者数	平成22	人	25.2	22.4	26.2	30.5	28.8	29.7	26.8	23.3	数値が小さいとよい指標
健康寿命(男)	平成25	歳	16.75	16.98	17.03	17.12	17.31	16.54	16.84	16.78	数値が大きいとよい指標
健康寿命(女)	平成25	歳	19.49	19.71	19.82	20.05	19.34	19.73	19.95	20.18	数値が大きいとよい指標

※生活習慣病は悪性新生物・心疾患・脳血管疾患(糖尿病除く)。

鴻巣市 =  1位 =  最下位 =

## (8) 福祉・社会保障分野

- 生活保護率は、0.61%で比較8自治体中、最も少なくなっています。
- 老年人口千人あたり介護老人施設定員数は、比較8自治体中2位となっています。

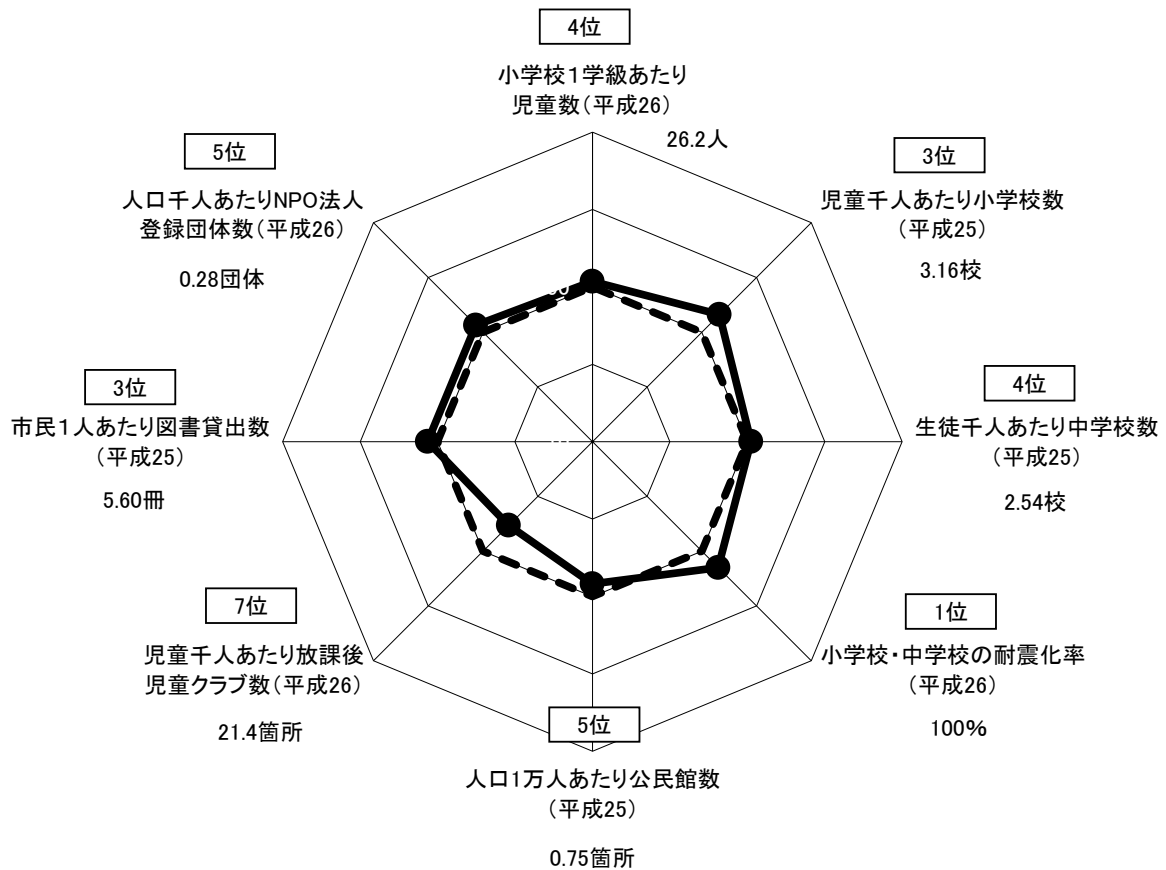


指標名	調査年	単位	鴻巣市	さいたま市	上尾市	桶川市	北本市	熊谷市	行田市	加須市	
保育所入所待機児童数	平成27	人	0	95	15	0	0	4	0	0	数値が小さいとよい指標
1人あたり医療費 (国民健康保険)	平成24	円	301,327	292,541	290,035	296,024	313,710	297,218	301,847	294,298	数値が小さいとよい指標
1人あたり後期高齢者医療費	平成26	円	748,927	775,618	792,372	733,024	719,578	768,847	805,596	737,170	数値が小さいとよい指標
老年人口千人あたり 介護老人施設定員数	平成25	人	35.0	25.8	23.0	23.9	36.7	28.9	24.5	30.3	数値が大きいとよい指標
要介護(要支援)認定率	平成24	%	12.8	15.2	12.4	13.0	12.3	15.8	15.0	13.5	数値が小さいとよい指標
生活保護率	平成24	%	0.61	1.57	0.87	0.98	1.11	1.10	0.93	0.89	数値が小さいとよい指標

鴻巣市 =  1位 =  最下位 =

### (9) 教育・文化分野

- 児童千人あたり放課後児童クラブ数が、比較8自治体中7位でやや低い状況です。
- 小中学校の耐震化率は、本市も含め8自治体中5自治体が100%となっています。

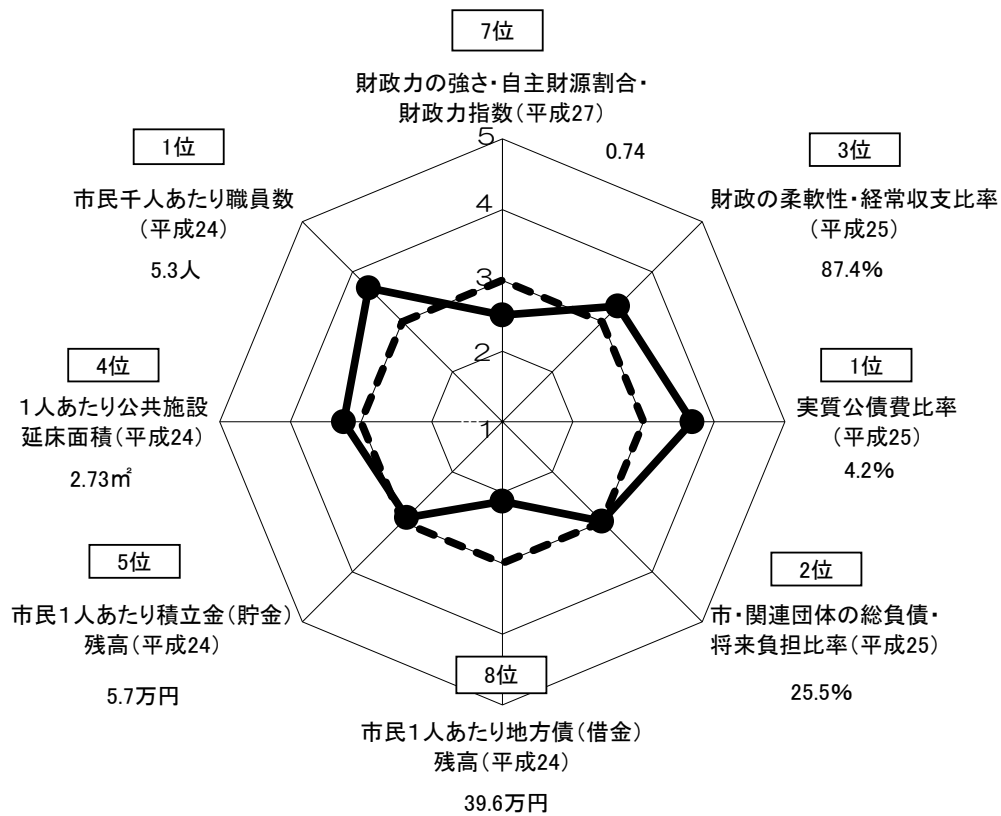


指標名	調査年	単位	鴻巣市	さいたま市	上尾市	桶川市	北本市	熊谷市	行田市	加須市	数値が小さいとよい指標
小学校1学級あたり児童数	平成26	人	26.2	30.8	29.2	29.6	25.5	24.9	21.7	25.1	数値が小さいとよい指標
児童千人あたり小学校数	平成25	校	3.16	1.57	1.80	1.78	2.28	2.93	3.76	3.74	数値が大きいとよい指標
生徒千人あたり中学校数	平成25	校	2.54	1.81	1.88	1.99	2.18	3.20	3.58	2.67	数値が大きいとよい指標
小学校・中学校の耐震化率	平成26	%	100.0	100.0	97.6	100.0	100.0	93.6	98.7	100.0	数値が大きいとよい指標
人口1万人あたり公民館数	平成25	箇所	0.75	0.47	0.26	0.53	0.87	1.78	1.99	0.86	数値が大きいとよい指標
児童千人あたり放課後児童クラブ数	平成26	箇所	21.4	23.2	19.5	24.0	24.7	23.8	22.5	25.0	数値が大きいとよい指標
市民1人あたり図書貸出数	平成25	冊	5.60	7.47	5.55	4.28	4.39	4.19	5.70	5.54	数値が大きいとよい指標
人口千人あたりNPO法人登録団体数	平成26	団体	0.28	0.34	0.24	0.19	0.29	0.40	0.40	0.26	数値が大きいとよい指標

鴻巣市 =  1位 =  最下位 =

## (10) 行財政運営分野

- 市民千人あたり職員数は、比較 8 自治体中 1 位で、最も少ない職員で運営しています。
- 実質公債費比率は低いが、市民 1 人あたり借金残高 39.6 万円は、比較 8 自治体中最下位となっています。



指標名	調査年	単位	鴻巣市	さいたま市	上尾市	桶川市	北本市	熊谷市	行田市	加須市	
財政力の強さ・自主財源割合・財政力指数	平成27		0.74	0.98	0.90	0.83	0.89	0.80	0.71	0.76	数値が大きいとよい指標
財政の柔軟性・経常収支比率	平成25	%	87.4	94.5	91.8	90.7	85.9	87.1	92.4	85.5	数値が小さいとよい指標
実質公債費比率	平成25	%	4.2	5.5	4.9	5.9	4.9	5.4	5.5	7.6	数値が小さいとよい指標
市・関連団体の総負債・将来負担比率	平成25	%	25.5	25.7	46.4	18.3	33.3	-	38.1	14.7	数値が小さいとよい指標
市民1人あたり地方債(借金)残高	平成25	万円	39.6	33.9	26.6	28.3	33.1	20.1	30.0	30.0	数値が小さいとよい指標
市民1人あたり積立金(貯金)残高	平成25	万円	5.7	3.2	2.9	8.2	4.9	8.6	6.0	8.9	数値が大きいとよい指標
1人あたり公共施設延床面積	平成25	㎡	2.73	2.06	1.69	1.79	11.04	19.52	3.30	3.06	数値が小さいとよい指標
市民千人あたり職員数	平成25	人	5.3	6.0	5.7	5.5	5.4	6.3	6.1	5.8	数値が小さいとよい指標

鴻巣市 =  1位 =  最下位 =

## 6 調査結果まとめ

10分野に係る主要指標（77指標）で都市間比較を実施し、5段階で区分した結果、鴻巣市は、強みが36.4%とある一方、弱みが41.6%となっており、やや弱みが上回っています（下図参照）。

また、分野別に強みと弱みの分野に分かれていることも特徴です。

強みの分野：「生活基盤」、「福祉・社会保障」の2分野

弱みの分野：「都市形成」、「経済基盤」、「にぎわい・交流」の3分野

### ■ 10分野 64指標による都市間比較に見る鴻巣市の強み・弱み傾向



### ■ 10分野別の都市間比較に見る鴻巣市の強み・弱み傾向

本市の状況	◎ 強い	○ やや強い	— 平均的	△ やや弱い	× 弱い	指標合計
偏差値区分	60以上	52.5以上	47.5～52.5	47.5以下	40以下	
人口・世帯	1	1	2	4	0	8
都市形成	1	0	2	5	0	8
経済基盤	0	3	2	4	1	10
にぎわい・交流	0	0	4	3	2	9
生活基盤	0	5	1	2	1	9
安全	1	1	0	1	1	4
健康・医療	0	2	2	1	2	7
福祉・社会保障	2	3	0	1	0	6
教育・文化	0	4	2	2	0	8
行政基盤	2	2	2	1	1	8
10分野合計	7	21	17	24	8	77
	9.1%	27.3%	22.1%	31.2%	10.4%	



■ 10 分野別の都市間比較に見る強み・弱みの指標一覧

	強み	やや強み	やや弱み	弱み
人口・世帯	・独居高齢者割合	・単身世帯割合	・年少人口割合（15歳未満） ・社会増減率 ・合計特殊出生率 ・人口千人当たり婚姻率	
都市形成	・市域に占める住地面積割合	・人口集中地区人口比率 ・人口集中地区人口密度	・市域に占める市街化区域面積割合 ・市域に占める人口集中地区面積割合 ・可住地に占める市街化区域面積割合 ・可住地に占める人口集中地区面積割合 ・可住地面積あたり人口密度	
経済基盤		・人口千人あたり第1次産業市内総生産額 ・黒字企業比率 ・創業比率	・人口千人あたり商業年間商品販売額（卸売業・小売業合計） ・人口千人あたり事業所数 ・人口千人あたり製造品出荷額等 ・人口千人あたり市町村内総生産	・人口千人あたり従業者数
にぎわい・交流			・他市区町村への通勤者比率 ・人口千人あたり飲食店数 ・可住地面積あたり新設住宅（貸家）着工戸数	・他市区町村からの通勤者比率 ・昼夜間人口比率
生活基盤		・公共下水道普及率 ・人口1人あたりごみ総排出量 ・ごみのリサイクル率 ・耕作放棄地率 ・持家世帯比率	・人口1人あたり都市公園面積 ・商業地地価変動率	・市町村道舗装率
安全	・人口千人あたり刑法犯認知件数 犯罪率	・人口千人あたり交通事故発生件数 交通事故（人身事故）発生率	・人口1万人あたり出火件数 出火率	・自主防災組織組織率
健康・医療		・人口10万人あたり生活習慣病による死亡者数 ・人口10万人あたり自殺者数	・健康寿命（男）	・人口10万人あたり医師数 ・健康寿命（女）
福祉・社会保障	・老年人口千人当たり介護老人施設定員数 ・生活保護率	・保育所入所待機児童数 ・1人あたり後期高齢者医療費 ・要介護（要支援）認定率	・1人あたり医療費（国民健康保険）	
教育・文化		・児童千人あたり小学校数 ・小学校・中学校の耐震化率 ・市民1人あたり図書貸出数 ・人口千人あたりNPO法人登録団体数	・人口1万人あたり公民館数 ・児童千人あたり放課後児童クラブ数	
行政基盤	・実質公債費比率 ・市民千人あたり職員数	・財政の柔軟性・経常収支比率 ・1人あたり公共施設延床面積	・財政力の強さ・自主財源割合・財政力指数	・市民1人あたり地方債（借金）残高

## 7 資料編

### (1) 出典一覧

分野名	指標名	出典	統計からみた 埼玉県市町村の すがた2015
人口・世帯	年少人口割合（15歳未満）	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015（P3） 資料：県統計課「埼玉県町（丁）字別人口調査」	統計表 3
	高齢者人口割合（65歳以上）	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015（P5） 資料：県統計課「埼玉県町（丁）字別人口調査」	統計表 5
	人口増加率	市町村決算カード	統計表
	社会増減率	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015（P10） 資料：県統計課「埼玉県推計人口」	統計表 13
	合計特殊出生率	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015（P17） 資料：県保健医療政策課「埼玉県の人口動態概況」	統計表 17
	人口千人あたり婚姻率	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015（P18） 資料：県保健医療政策課「埼玉県の人口動態概況」	統計表 18
	単身世帯割合	H22国勢調査	
	独居高齢者割合	H22国勢調査	
都市形成	市域に占める可住地面積割合	e-stat（地域別統計データベース） 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
	市域に占める市街化区域面積割合	e-stat（地域別統計データベース） 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
	市域に占める人口集中地区面積割合	e-stat（地域別統計データベース） 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
	可住地に占める市街化区域面積割合	e-stat（地域別統計データベース） 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
	可住地に占める人口集中地区面積割合	e-stat（地域別統計データベース） 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
	人口集中地区人口比率	e-stat（地域別統計データベース） 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
	可住地面積あたり人口密度	e-stat（地域別統計データベース） 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
	人口集中地区人口密度	e-stat（地域別統計データベース） 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
経済基盤	人口千人あたり商業年間商品販売額 （卸売業・小売業合計）	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015（P31） 総務省統計局「H24経済センサス活動調査」	統計表 29
	人口千人あたり事業所数	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015（P28） 総務省統計局「H24経済センサス活動調査」	統計表 26
	人口千人あたり従業者数	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015（P29） 総務省統計局「H24経済センサス活動調査」	統計表 27
	人口千人あたり製造品出荷額等	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015（P30） 経済産業省「工業統計調査」	統計表 28
	人口千人あたり第1次産業市内総生産額	埼玉の市町村民経済計算	

分野名	指標名	出典	統計からみた 埼玉縣市町村の すがた2015
経済 基盤	人口千人あたり観光入込客数	県産業労働部 観光課 平成22年入込観光客「推計」調査	
	人口千人あたり市町村内総生産	埼玉の市町村民経済計算	
	黒字企業比率	RESAS-地域経済分析システム 自治体比較マップ 黒字赤字企業比率_市区町村_全産業	
	創業比率	RESAS-地域経済分析システム 自治体比較マップ 創業比率	
	1世帯あたり課税対象所得額	e-stat (地域別統計データベース) 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
に ぎ わ い ・ 交 流	他市区町村への通勤者比率	e-stat (地域別統計データベース) 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
	他市区町村からの通勤者比率	e-stat (地域別統計データベース) 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
	昼夜間人口比率	統計からみた埼玉縣市町村のすがた2014(P8) 総務省統計局「平成22年国勢調査」	統計表 8
	人口千人あたり小売店数	平成24年経済センサス-活動調査 卸売業・小売業に関する 集計 産業編 (市区町村表) 総務省統計局	
	人口千人あたり飲食店数	経済センサス活動調査 (24年) 産業(中分類)別民営事業 所数, 男女別従業者数及び常用雇用者数-市区町村	
	人口10万人あたり大型店舗数	都市データパック2015 東洋経済「全国大型小売店総覧」	
	地元購買率 (A群)日用品・雑貨)	彩の国 購買動向調査	
	地元購買率 (家族で買い物を楽しむ場合)	彩の国 購買動向調査	
	可住地面積あたり新設住宅 (貸家) 着工戸数	住宅着工統計 (H26年度)	
生 活 基 盤	市町村道舗装率	統計からみた埼玉縣市町村のすがた2015 (P50) 県道路環境課「道路現況調査」	統計表 47
	公共下水道普及率	統計からみた埼玉縣市町村のすがた2015 (P49) 国土交通省HP「平成25年度末の下水道整備状況について」/ 県下水道管理課HP公共下水道整備状況一覧表」	統計表 46
	人口1人あたりごみ総排出量	統計からみた埼玉縣市町村のすがた2015 (P47) 環境省HP「一般廃棄物処理実態調査結果」	統計表 44
	ごみのリサイクル率	e-stat (地域別統計データベース) 「都道府県・市区町村の姿」環境省 一般廃棄物処理実態 調査	
	人口1人あたり都市公園面積	統計からみた埼玉縣市町村のすがた2015 (P51) 県公園スタジアム課「埼玉県都市公園調書」	統計表 48
	住宅地地価変動率	県企画財政部 土地水政策課 16 市区町村別・用途別平均価格及び平均変動率一覧表	
	商業地地価変動率	県企画財政部 土地水政策課 16 市区町村別・用途別平均価格及び平均変動率一覧表	
	耕作放棄地率 (耕作放棄地面積/経営耕地面積 + 耕作放棄 地面積×100)	統計からみた埼玉縣市町村のすがた2015 (P26.27) 農林水産省「農林業センサス」	統計表 24.25
	持家世帯比率	県総務部 統計課 住宅・土地統計調査 平成25年 (確報)	

分野名	指標名	出典	統計からみた 埼玉県市町村の すがた2015
安全	人口1万人あたり出火件数 出火率	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015 (P58) 県の消防年報	統計データ値 55
	人口千人あたり交通事故発生件数 交通事故(人身事故)発生率	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015 (P57) 県警「交通統計」	統計データ値 54
	人口千人あたり刑法犯認知件数 犯罪率	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015 (P55) 県警察本部	統計データ値 52
	自主防災組織組織率	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015 (P59) 県危機管理課	統計データ値 56
健康・医療	人口10万人あたり一般病院 一般病床数	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015 (P39) 県保健医療政策課「埼玉県保健統計年報」	統計データ値 36
	人口10万人あたり一般診療所数	e-stat(地域別統計データベース) 総務省「都道府県・市区町村の姿」	
	人口10万人あたり医師数	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015 (P41) 県保健医療政策課「埼玉県保健統計年報」	
	人口10万人あたり生活習慣病による死亡者数	県保健医療部 衛生研究所 地域の現状と健康指標	
	人口10万人あたり自殺者数	内閣府 市町村別自殺者数(H22年)	
	健康寿命(男)	埼玉県衛生研究所で作成した地域の健康情報把握ソフト 『ツール君』に基づき、県HPにて公開するデータ	
	健康寿命(女)	埼玉県衛生研究所で作成した地域の健康情報把握ソフト 『ツール君』に基づき、県HPにて公開するデータ	
福祉・社会保障	保育所入所待機児童数	県 少子政策課 市町村別待機児童数(平成27年4月1日現在)	
	1人あたり医療費(国民健康保険)	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015 (P38) 県国保医療課「平成24年度国民健康保険事業状況」	統計データ値 35
	1人あたり後期高齢者医療費	埼玉県後期高齢者医療広域連合会 医療給付費及び一人あたり医療給付費	
	老年人口千人当たり介護老人施設定員数	都市データパック2015 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」	
	要介護(要支援)認定率	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015 (P43) 厚生労働省(平成24年度介護保険事業状況報告)、大里 広域市町村圏組合	統計データ値 40
	生活保護率	統計からみた埼玉県市町村のすがた2015 (P44) 県社会福祉課	統計データ値 41

分野名	指標名	出典	統計からみた 埼玉各市町村の すがた2015
教育・文化	小学校1学級あたり児童数	県総務部 統計課 平成27年度学校基本調査	
	児童千人あたり小学校数	e-stat (地域別統計データベース) 「都道府県・市区町村の姿」文部科学省 学校基本調査	
	生徒千人あたり中学校数	e-stat (地域別統計データベース) 「都道府県・市区町村の姿」文部科学省 学校基本調査	
	小学校・中学校の耐震化率	統計からみた埼玉各市町村のすがた2015 (P46) 文部科学省 「公立学校施設の耐震改修状況調査結果」	統計データ値 43
	人口1万人当たり公民館数	市町村公共施設概要 (H25)	
	児童千人当たり放課後児童クラブ数	県総務部 統計課 平成26年市町村勢概要	
	市民1人あたり図書貸出数	統計からみた埼玉各市町村のすがた2015 (P45) 埼玉県図書館協会 (埼玉の公立図書館)	統計データ値 42
	人口千人当たりNPO法人登録団体数	埼玉県NPO情報ステーション登録数/人口数	
行政基盤	財政力の強さ・自主財源割合・財政力指数	埼玉県HP 市町村交付税概要 平成26年度 財政力指数一覧	
	財政の柔軟性・経常収支比率	統計からみた埼玉各市町村のすがた2015 (P65) 県市町村課HP「平成25年度市町村普通会計決算の概要」	統計データ値 60
	実質公債費比率	統計からみた埼玉各市町村のすがた2015 (P66) 県市町村課HP「平成25年度市町村普通会計決算の概要」	統計データ値 61
	市・関連団体の総負債・将来負担比率	統計からみた埼玉各市町村のすがた2015 (P67) 県市町村課HP「平成25年度市町村普通会計決算の概要」	統計データ値 62
	市民1人あたり地方債(借金)残高	総務省「市町村別決算状況調」市町村決算カード	
	市民1人あたり積立金(貯金)残高	総務省「市町村別決算状況調」市町村決算カード	
	1人あたり公共施設延床面積	県企画財政部 市町村課 市町村公共施設状況(個表)	
	市民千人あたり職員数	総務省「市町村別決算状況調」市町村決算カード	

## V.人口動態

### 1 調査目的

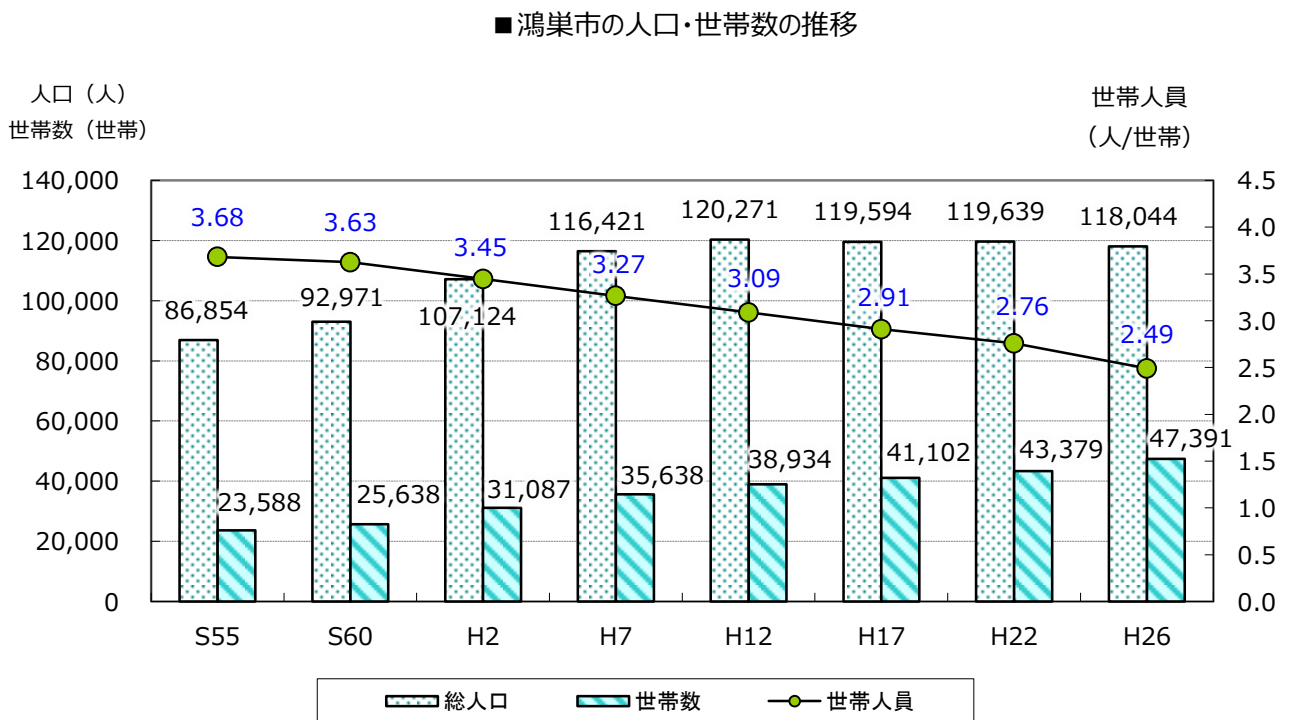
本市の人口・世帯推移、転入転出の傾向、今後の人口推計を踏まえ、行政需要およびまちづくりの方針を検討するための基礎資料とします。

### 2 人口・世帯数の推移

本市の人口は、平成 27 年 1 月 1 日現在の人口（※日本人のみ）は、118,044 人となっています。本市の人口増減では、昭和 55 年から平成 22 年まで増加傾向にありました。特に、平成 12 年から平成 17 年で、35,000 人増加し、人口増加に寄与しています。

平成 22 年以降は、減少に転じており平成 22 年と比較すると 1500 人ほど減少しています。

世帯数は、核家族化、少子化等が進み、1 世帯あたり人数は、昭和 55 年 3.65 人から平成 26 年には、2.49 人と落ち込んでいます。



出所：国勢調整（S55～H22）

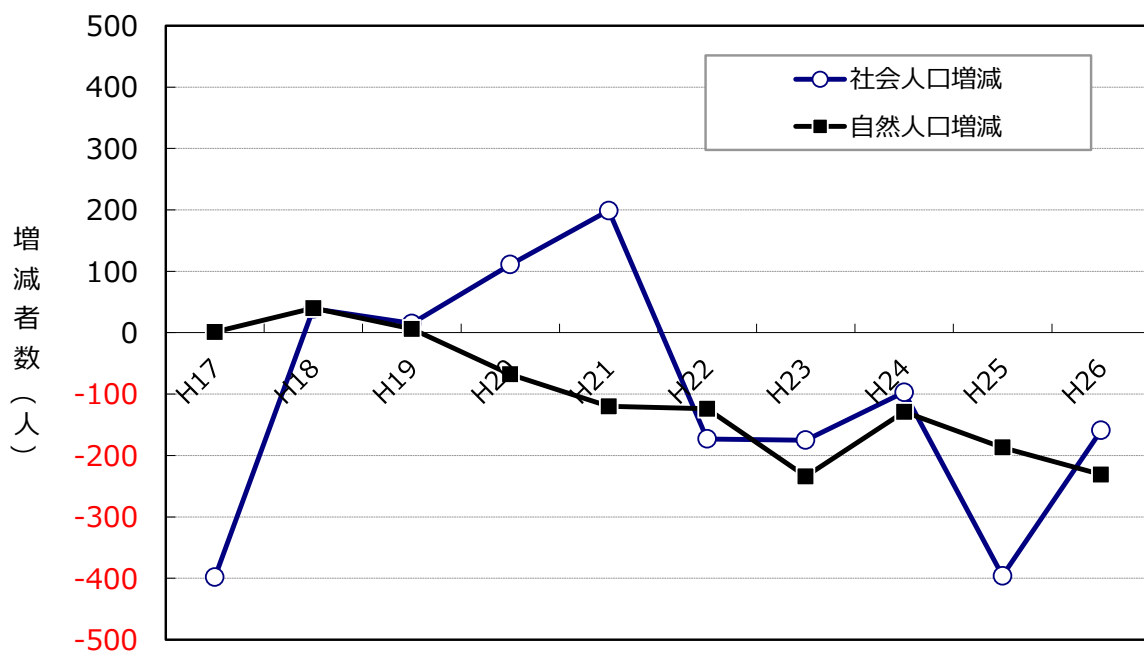
住民基本台帳（H27.1.1）

### 3 社会増減・自然増減の推移

社会増減（転入－転出）は、宅地開発や高層住宅の影響を受けており、転入超過となる年や転出超過となる年が混在していることが特徴です。ここ10年では、400名の転出超過から200名の転入超過という増減幅となっています。

自然増減（出生数－死亡数）は、平成20年以降減少に転じており、減少幅は年々大きくなる傾向にあります。この理由は、出生数について800人台を毎年維持してきましたがH26年で700人台に減少したことに加え、高齢化の進展により死亡者数が年々増加していることによるものです。

■ 鴻巣市の社会人口・自然人口増減の推移



出所：埼玉縣市町村勢概要 人口動態

※H26の出典については「住民基本台帳より集計」

■ 鴻巣市の社会人口・自然人口増減内訳

単位 (人)

		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
社会人口	転入	4,169	4,922	4,853	4,808	4,917	4,648	4,114	4,222	4,002	3,988
	転出	4,567	4,883	4,838	4,697	4,718	4,821	4,289	4,319	4,398	4,147
	増減	-398	39	15	111	199	-173	-175	-97	-396	-159
自然人口	出生	837	871	887	830	813	854	826	857	843	768
	死亡	836	831	881	898	933	978	1,060	986	1,030	999
	増減	1	40	6	-68	-120	-124	-234	-129	-187	-231
人口増減		-397	79	21	43	79	-297	-409	-226	-583	-390

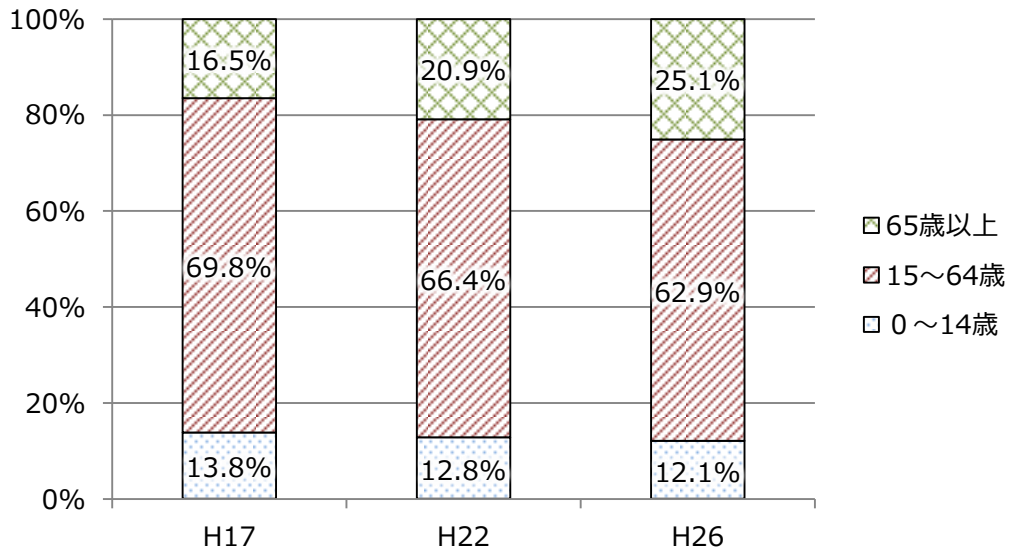
出所：埼玉縣市町村勢概要 人口動態

#### 4 年齢階層別人口の推移

本市の年齢3区分の人口構成費の推移では、65歳以上の高齢化率が、平成22年に20%を超えました。本市においても、高齢化社会への対応の本格化が必要となってきています。

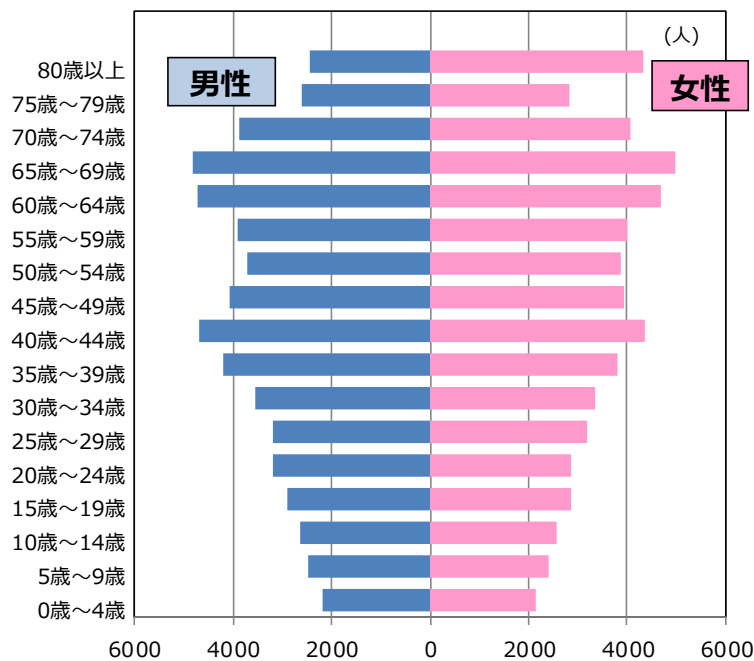
年齢階層別の特徴では、下記の人口ピラミッドにあるように、40～44歳と60～64、65～69歳の比率が大きくなっています。また、80歳以上の女性比率が高いことも特徴です。

■ 鴻巣市の年齢3区分人口構成の推移



出所：国勢調整（H17～H22）  
住民基本台帳（H27.1.1）

■ 人口ピラミッド（年齢階層別分布） 平成27年1月1日



出所：平成27年1月1日住民基本台帳



## 5 転出入の動向(単年度)

鴻巣市の転入転出の過去1年間の傾向では、転入転出ともに県内移動の比率が高くなっています。

- **転入**については、さいたま市からの転入が15.2%を占め、次いで行田市が11.5%、北本市11.4%、上尾市8.8%、熊谷市7.8%で、上位5自治体で5割を超えています。
- **転出**については、さいたま市への転出が16.8%、次いで行田市12.3%、上尾市9.2%、北本市8.6%で、上位5自治体で5割を超えています。

■ 鴻巣市への転入前自治体

	地域	転入	構成比
	県内への移動数	2,123	
	県外への移動数	1,830	
	その他	49	
1位	さいたま市	322	15.2%
2位	行田市	245	11.5%
3位	北本市	241	11.4%
4位	上尾市	186	8.8%
5位	熊谷市	165	7.8%
6位	桶川市	107	5.0%
7位	久喜市	66	3.1%
8位	加須市	63	3.0%
9位	川口市	58	2.7%
10位	川越市	57	2.7%
	その他埼玉県内	613	28.9%

■ 鴻巣市からの転出先自治体

	地域	転出	構成比
	県内移動数	2,277	
	県外移動数	1,958	
	その他	163	
1位	さいたま市	383	16.8%
2位	行田市	281	12.3%
3位	上尾市	210	9.2%
4位	北本市	195	8.6%
5位	熊谷市	181	7.9%
6位	桶川市	109	4.8%
7位	加須市	96	4.2%
8位	川口市	90	4.0%
9位	深谷市	80	3.5%
10位	川越市	53	2.3%
	その他埼玉県内	599	26.3%

出所：平成26年埼玉県統計年鑑(3-5 市区町村別人口異動)

平成26年埼玉県統計年鑑(3-6 市区町村間移動人口)

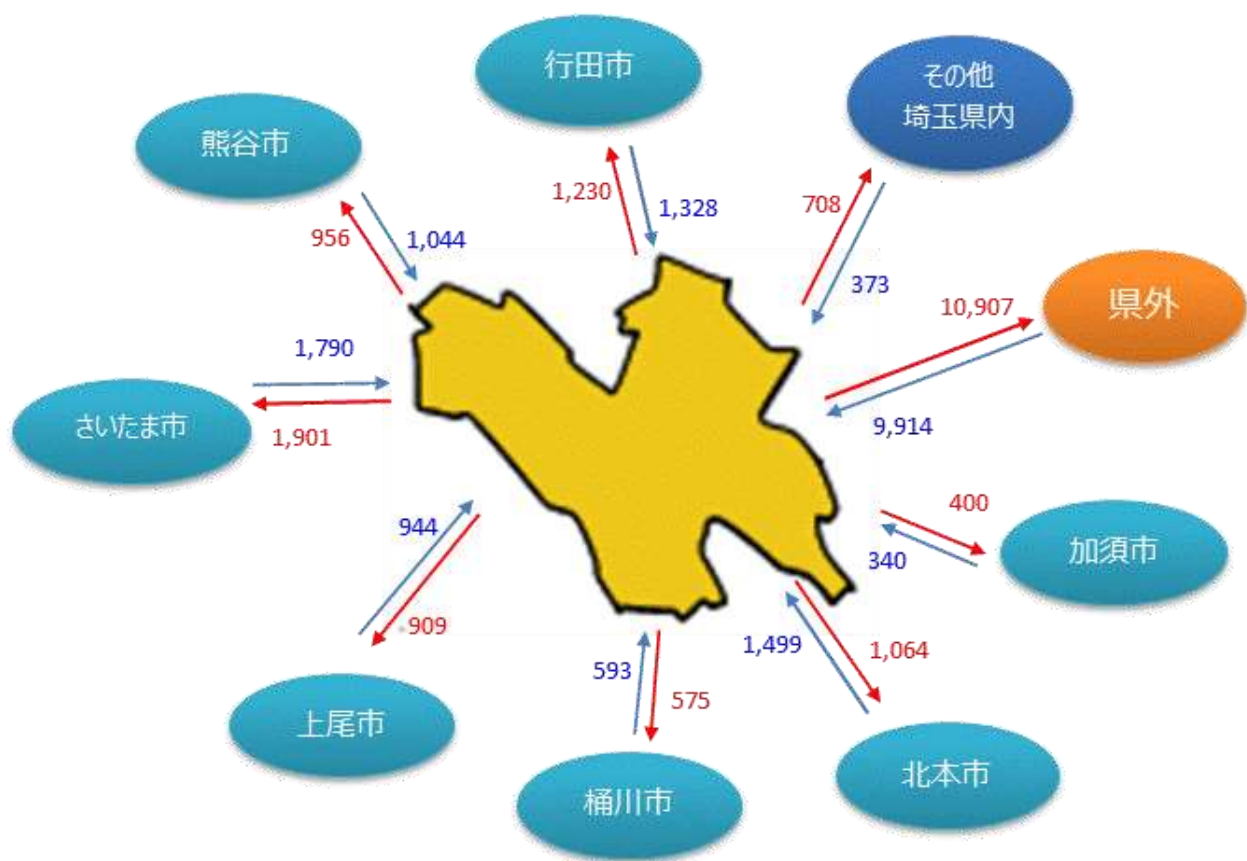
## 5 転出入の動向(5年間 累計)

鴻巣市の転入転出の中期的傾向(H21-H25)は、下記のとおりとなっています。全体では▲714名の転出超過となっています。その多くは、県外への転出です。

近隣市との中期的傾向(H21-H25)では、転入超過傾向が見られます。

- **転入超過** 北本市(435名) 行田市(98名) 熊谷市(88名) 上尾市(35名) 桶川市(18名)
- **転出超過** 県外(▲993名) その他埼玉県内(▲335名) 加須市(▲60名)

県内市区町村間移動者数 (H21~H25) 5年間の累計

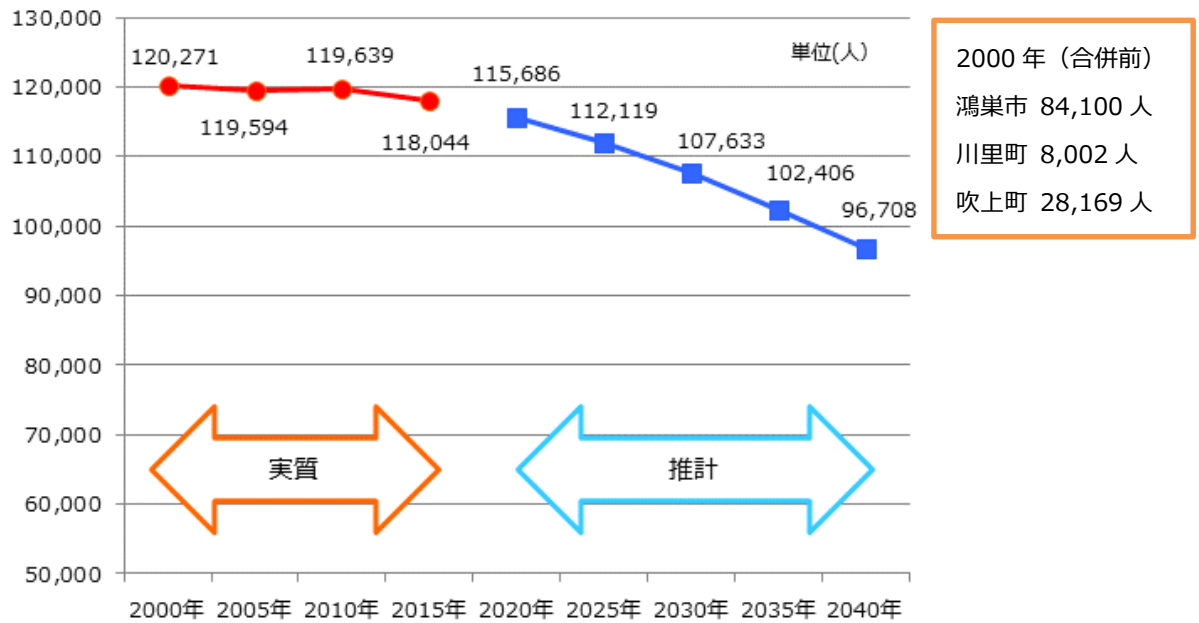


## 6 人口推計

国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研という。）の平成 25 年 3 月推計の人口推計では、本市は 2010 年（平成 22 年）以降、人口減少局面に突入しています。

年齢 3 区分では、2025 年には、高齢化率が 50%を超えることが推計されています。

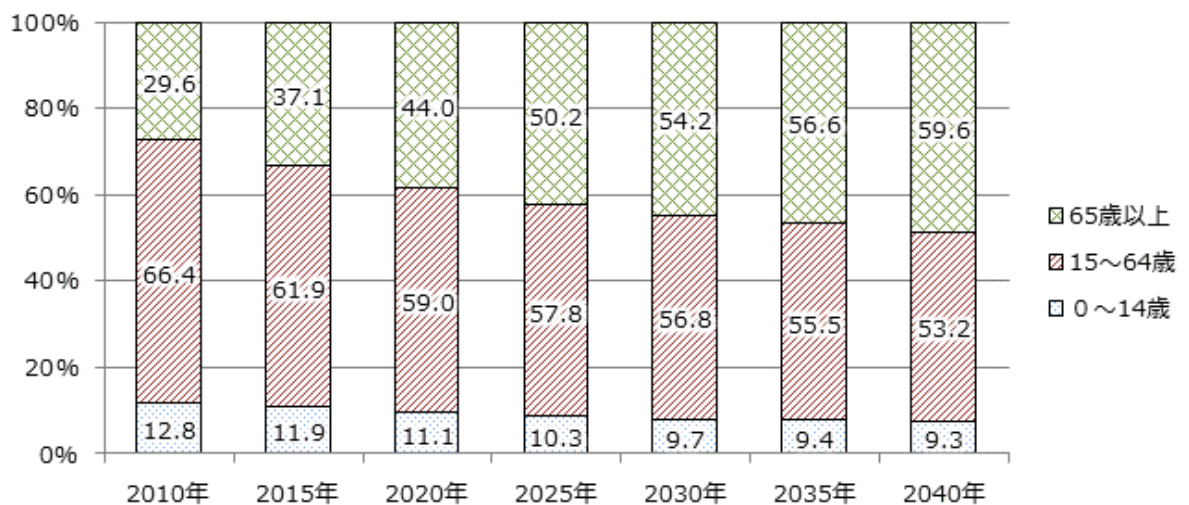
■ 鴻巣市の人口推計



出所：国立社会保障・人口問題研究所(平成 25 年 3 月推計)

※2005 年度以前のデータは、川里町・吹上町の合併前データを合算しています。

■ 鴻巣市の年齢 3 区分人口推計



出所：国立社会保障・人口問題研究所(平成 25 年 3 月推計)

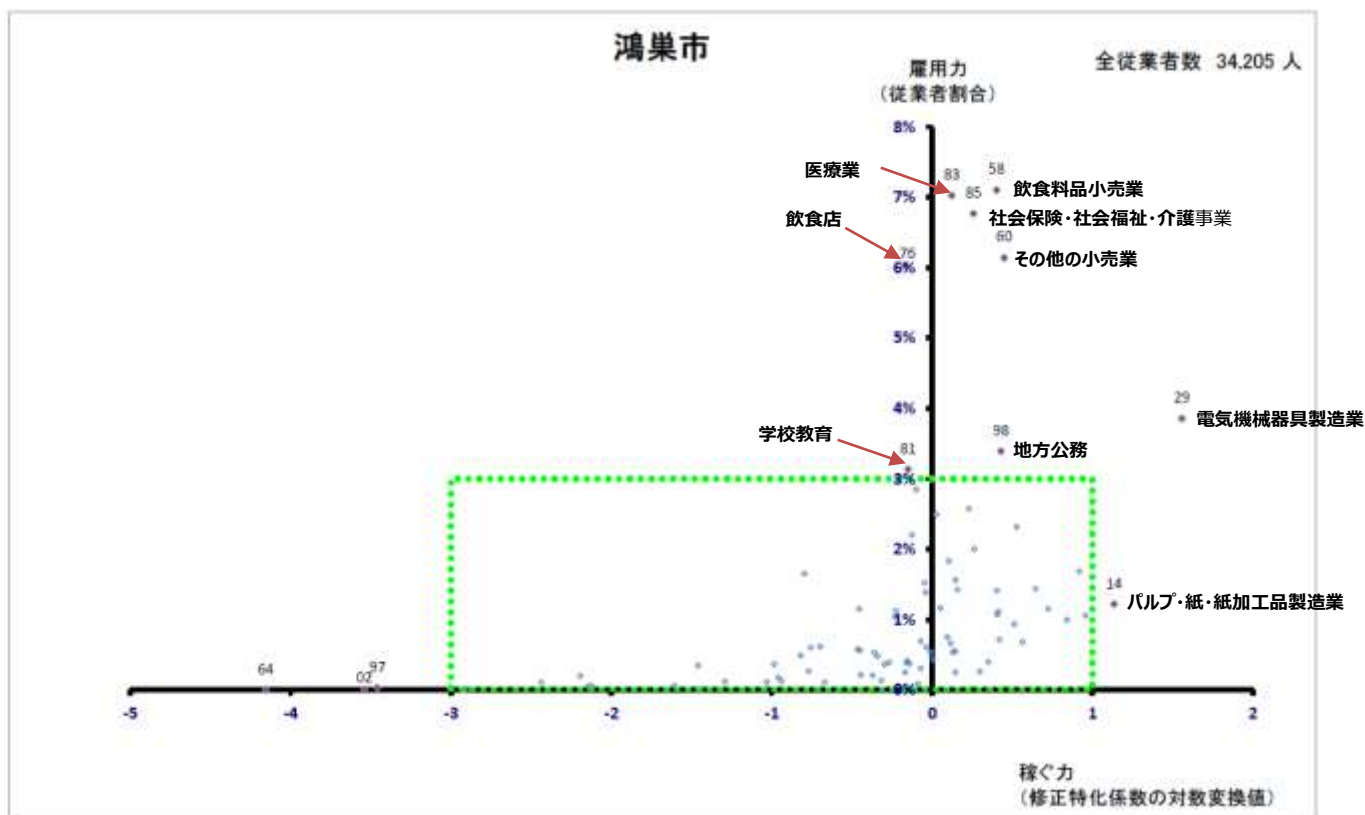
## VI. 経済構造分析

### 1 鴻巣市の産業・雇用創造

鴻巣市の雇用力（従業者割合）と稼ぐ力（市への集積力）をチャート化したものが下記のとおり。

雇用力の上位 5 業種は、「飲食料品小売業」「医療業」「社会保険・社会福祉・介護事業」「その他小売業」「飲食店」となっており、全体の 33.0%を占めています。なお H21 と H24 では上位に業種変化が起こっています。

稼ぐ力（市への集積）で、集積有意が認められる業種（修正特化係数対数変換値 1.0 以上）は、「電気機械器具製造業」「パルプ・紙・紙加工品製造業」の 2 業種となっています。



データ：H24 経済センサス調査

## 2 鴻巣市の経済構造の推移

平成 21 年と平成 24 年の経済センサス調査結果によると、鴻巣市の経済構造に変化が見られます。

雇用力については、H24に「飲食料品小売業」が7.1%で1.2ポイント上昇し、1位となっています。また「社会保険・社会福祉・介護事業」も6.8%で1.3ポイント上昇しています。

稼ぐ力（市への集積）については、H21に1位であった「業務用機械器具製造業」がH24では10位以下となっています。また「機械等修理業」「プラスチック製品製造業」の市への集積が減少しています。他方、「無店舗小売業」の集積が高まっています。

### ●雇用力

		従業者数	割合
	鴻巣市全体 (H21)	36,939	100%
1位	83医療業	2,269	6.1%
2位	76飲食店	2,221	6.0%
3位	58飲食料品小売業	2,191	5.9%
4位	60その他の小売業	2,090	5.7%
5位	85社会保険・社会福祉・介護事業	2,025	5.5%
6位	29電気機械器具製造業	1,412	3.8%
7位	98地方公務	1,160	3.1%
8位	55その他の卸売業	1,094	3.0%
9位	81学校教育	1,069	2.9%
10位	44道路貨物運送業	1,034	2.8%

		従業者数	割合
	鴻巣市全体 (H24)	34,205	100%
1位	58飲食料品小売業	2,430	7.1%
2位	83医療業	2,403	7.0%
3位	85社会保険・社会福祉・介護事業	2,315	6.8%
4位	60その他の小売業	2,101	6.1%
5位	76飲食店	2,062	6.0%
6位	29電気機械器具製造業	1,320	3.9%
7位	98地方公務	1,160	3.4%
8位	81学校教育	1,072	3.1%
9位	06総合工事業	974	2.8%
10位	78洗濯・理容・美容・浴場業	881	2.6%

### ●稼ぐ力

	鴻巣市 (H21)	修正特化係数の 対数変換値
1位	27業務用機械器具製造業	1.55
2位	29電気機械器具製造業	1.53
3位	90機械等修理業（別掲を除く）	1.22
4位	18プラスチック製品製造業（別掲を除く）	1.06
5位	32その他の製造業	0.79
6位	14パルプ・紙・紙加工品製造業	0.79
7位	56各種商品小売業	0.73
8位	55その他の卸売業	0.73
9位	57織物・衣服・身の回り品小売業	0.57
10位	01農業	0.50

	鴻巣市 (H21)	修正特化係数の 対数変換値
1位	29電気機械器具製造業	1.56
2位	14パルプ・紙・紙加工品製造業	1.14
3位	90機械等修理業（別掲を除く）	0.96
4位	15印刷・同関連業	0.92
5位	61無店舗小売業	0.84
6位	32その他の製造業	0.72
7位	18プラスチック製品製造業（別掲を除く）	0.65
8位	22鉄鋼業	0.57
9位	55その他の卸売業	0.53
10位	01農業	0.51

データ：H21・H24 経済センサス調査

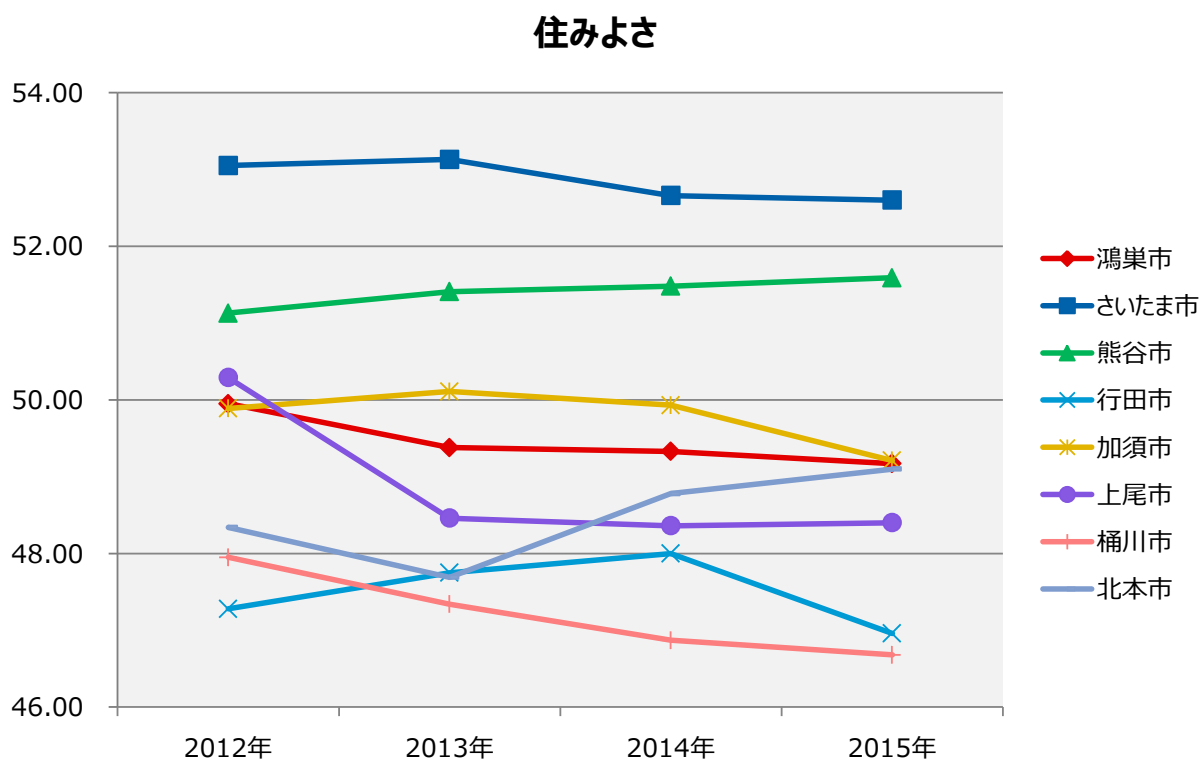
## VII. 住み良さ・地域ブランド

### 1 住みよさランキング

東洋経済新報社が毎年出版している都市データパックの住み良さランキング 2015 では、各種統計データを安心度、利便性、快適度、富裕度、住民水準充実度を偏差値化し、総合評価・順位を設定しています。直近データにおける近隣市との比較結果は下記のとおりです。

鴻巣市は、400 位から 481 位へと後退しています。

近隣市との位置づけでは、さいたま市が 100 位台、熊谷市が 200 位台と突出しています。現在、鴻巣市は北本市、加須市とほぼ同じ順位や偏差値となっています。



	2012年		2013年		2014年		2015年	
	偏差値	順位	偏差値	順位	偏差値	順位	偏差値	順位
鴻巣市	49.95	400位	49.38	450位	49.33	461位	49.17	481位
さいたま市	53.05	116位	53.13	104位	52.66	129位	52.60	132位
熊谷市	51.13	274位	51.41	236位	51.48	229位	51.59	213位
行田市	47.28	649位	47.75	616位	48.00	601位	46.96	684位
加須市	49.89	409位	50.11	378位	49.93	400位	49.21	476位
上尾市	50.29	361位	48.46	544位	48.36	568位	48.40	572位
桶川市	47.95	599位	47.34	640位	46.87	682位	46.68	691位
北本市	48.34	561位	47.69	622位	48.78	519位	49.10	498位

出典：東洋経済新報社  
都市データパック 2012～2015

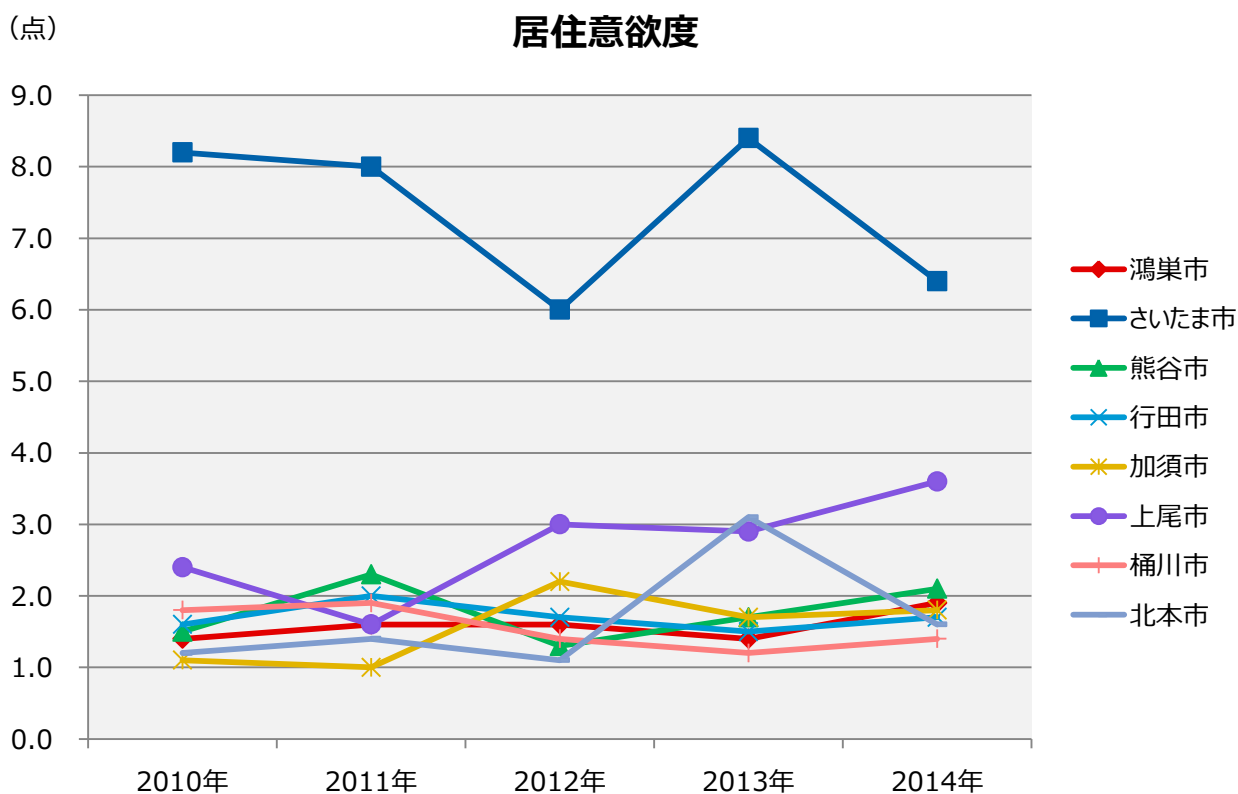
## 2 地域ブランド調査

地域ブランド総合研究所が毎年実施している地域ブランド調査結果では、約 30,000 人へのインターネット調査から、各自治体（1047）の認知度や居留意欲度等を測定し、得点化・順位化しています。直近データにおける近隣市との比較結果は下記のとおりです。

### (1) 居留意欲度

100 点満点で住みたい地域を選択いただいた結果です。比較都市は総じて 10 点未満です。鴻巣市は 600～700 位台となっています。さいたま市は 100 位程度で近隣都市では突出しています。

1 位：横浜市(21.8 点) 2 位:札幌市 (18.6 点) 3 位：京都市 (17.6 点)



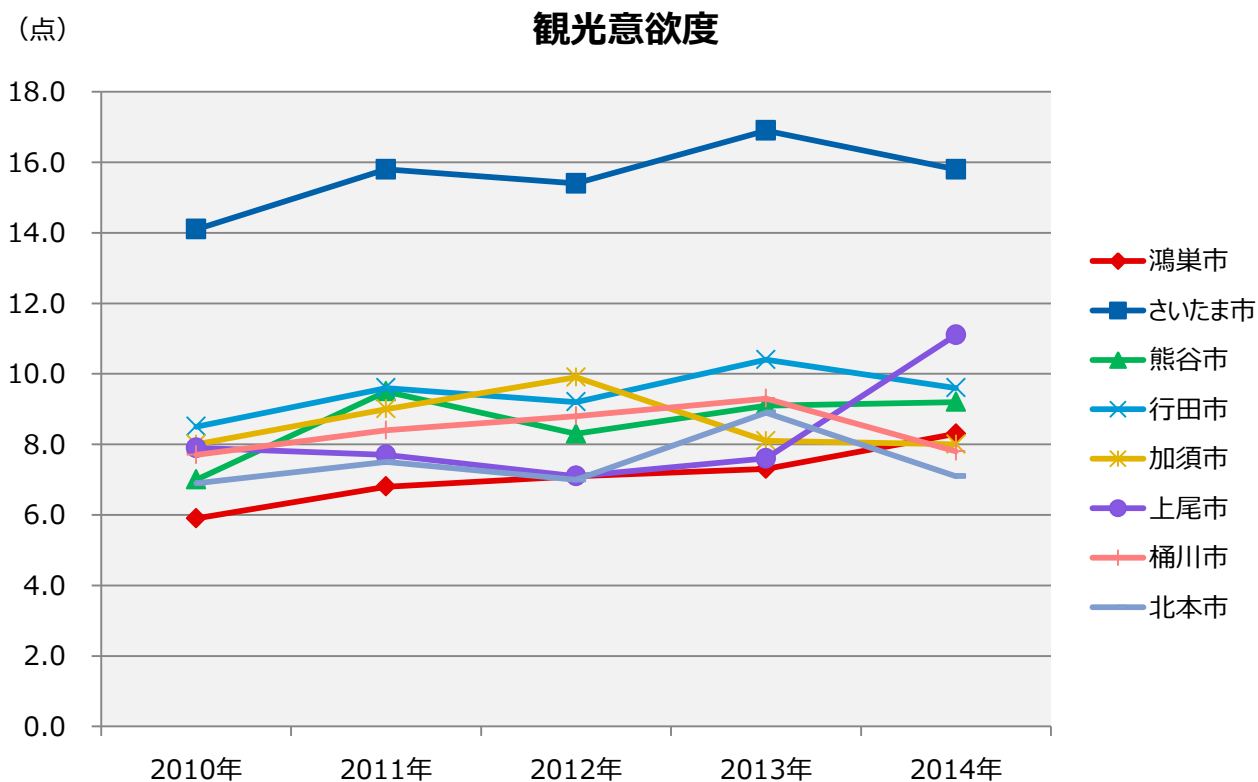
	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位
鴻巣市	1.4	754位	1.6	756位	1.6	775位	1.4	909位	1.9	645位
さいたま市	8.2	62位	8.0	66位	6.0	114位	8.4	55位	6.4	79位
熊谷市	1.5	715位	2.3	527位	1.3	874位	1.7	817位	2.1	567位
行田市	1.6	671位	2.0	613位	1.7	734位	1.5	885位	1.7	737位
加須市	1.1	871位	1.0	943位	2.2	588位	1.7	817位	1.8	690位
上尾市	2.4	433位	1.6	756位	3.0	382位	2.9	413位	3.6	232位
桶川市	1.8	612位	1.9	645位	1.4	834位	1.2	954位	1.4	858位
北本市	1.2	833位	1.4	829位	1.1	927位	3.1	371位	1.6	778位

出典：地域ブランド調査 2010～2014（地域ブランド総合研究所）

## (2) 観光意欲度

100点満点で観光に行ってみたいかを選択いただいた結果です。比較都市は総じて20点未満です。鴻巣市は900位台となっています。さいたま市は400位程度で近隣都市では突出しています。

1位：札幌市(61.1点) 2位:函館市(60.7点) 3位：小樽市(54.8点)



	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位
鴻巣市	5.9	997位	6.8	978位	7.1	978位	7.3	988位	8.3	952位
さいたま市	14.1	463位	15.8	437位	15.4	447位	16.9	393位	15.8	395位
熊谷市	7.0	968位	9.5	849位	8.3	933位	9.1	924位	9.2	892位
行田市	8.5	863位	9.6	839位	9.2	873位	10.4	806位	9.6	862位
加須市	8.0	909位	9.0	892位	9.9	818位	8.1	967位	8.0	967位
上尾市	7.9	918位	7.7	951位	7.1	978位	7.6	978位	11.1	716位
桶川市	7.7	931位	8.4	925位	8.8	898位	9.3	905位	7.8	975位
北本市	6.9	973位	7.5	958位	7.0	982位	8.9	929位	7.1	994位

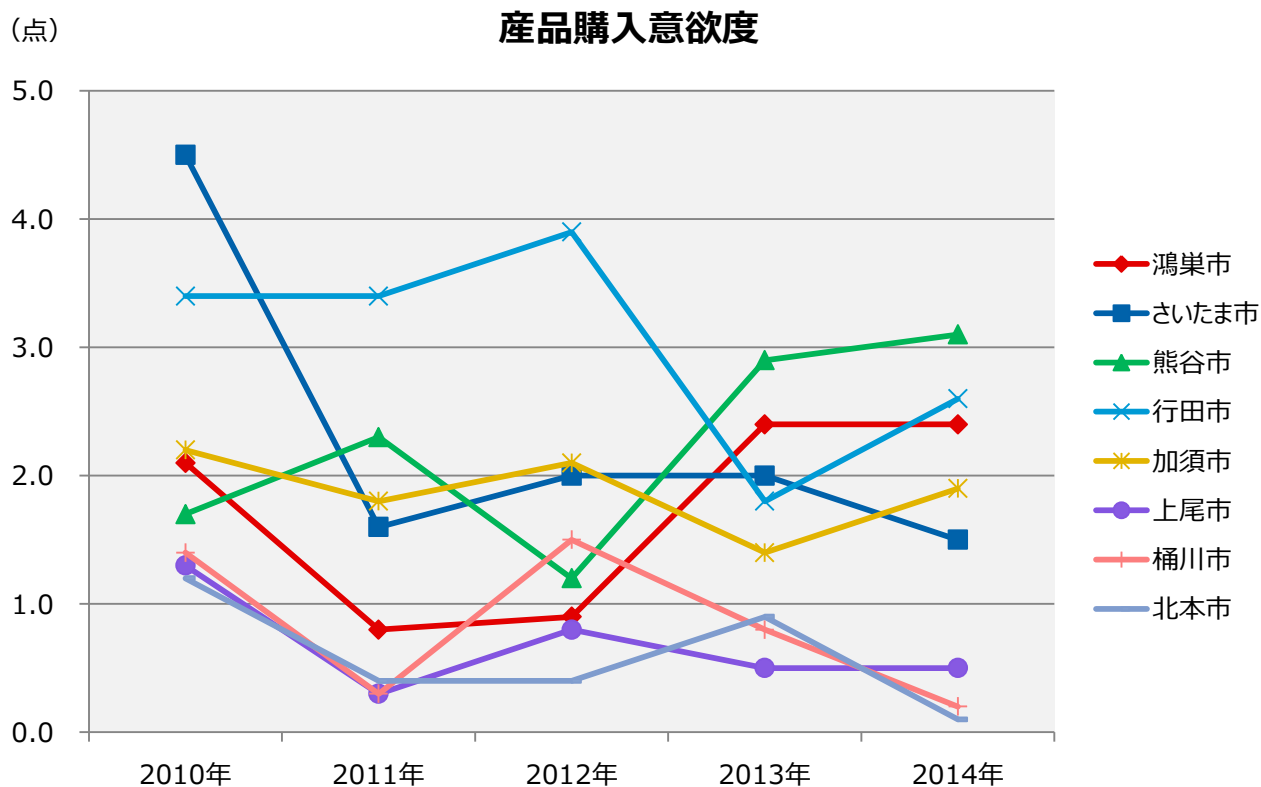
出典：地域ブランド調査 2010～2014（地域ブランド総合研究所）



### (3) 産品購入意欲度

100点満点で観光に行ってみたいかを選択いただいた結果です。比較都市は総じて5点未満です。鴻巣市は500位台で、熊谷市、行田市に次いで3位となっています。

1位：札幌市(66.9点) 2位:函館市(53.0点) 3位：夕張市(51.9点)



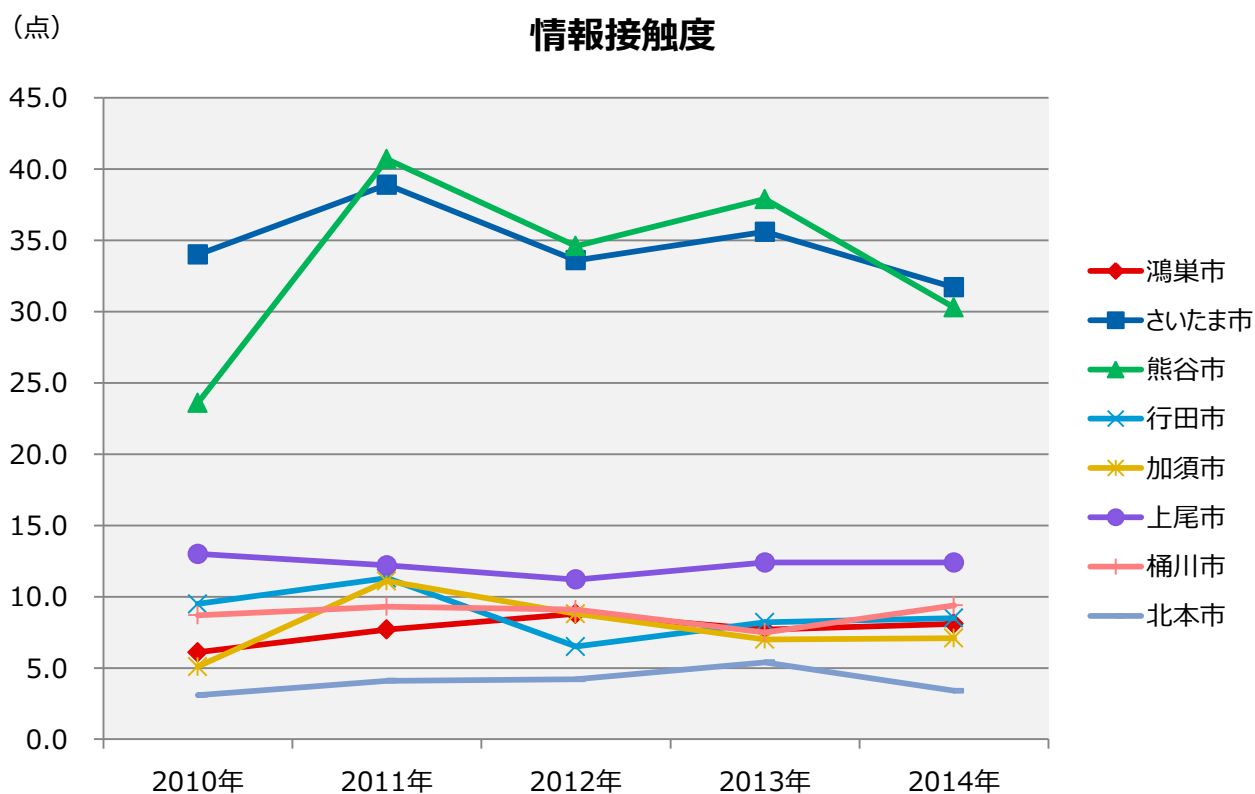
	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位
鴻巣市	2.1	736位	0.8	894位	0.9	873位	2.4	568位	2.4	506位
さいたま市	4.5	453位	1.6	737位	2.0	671位	2.0	632位	1.5	662位
熊谷市	1.7	807位	2.3	616位	1.2	813位	2.9	501位	3.1	418位
行田市	3.4	557位	3.4	476位	3.9	442位	1.8	667位	2.6	477位
加須市	2.2	724位	1.8	703位	2.1	655位	1.4	746位	1.9	582位
上尾市	1.3	875位	0.3	969位	0.8	898位	0.5	935位	0.5	903位
桶川市	1.4	861位	0.3	969位	1.5	753位	0.8	886位	0.2	963位
北本市	1.2	898位	0.4	953位	0.4	965位	0.9	851位	0.1	980位

出典：地域ブランド調査 2010～2014（地域ブランド総合研究所）

#### (4) 情報接触度

「当該自治体の情報を何度も見聞きした」を100点満点で聞いた結果です。さいたま市が74位、熊谷市が84位と突出しています。鴻巣市は500～600位台となっています。

1位：札幌市(56.9点) 2位:渋谷区(55.5点) 3位：新宿区(55.5点)



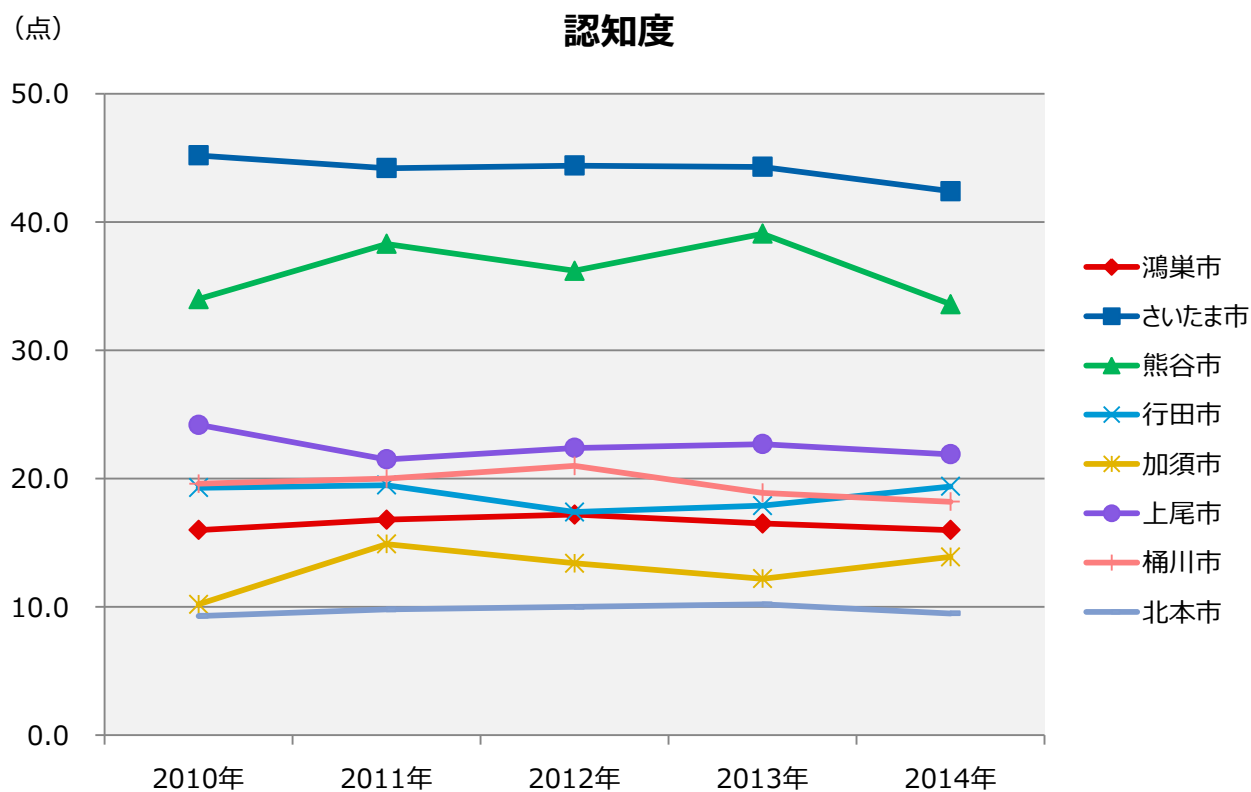
	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位
鴻巣市	6.1	640位	7.7	635位	8.8	568位	7.7	595位	8.1	555位
さいたま市	34.0	49位	38.9	58位	33.6	83位	35.6	60位	31.7	74位
熊谷市	23.6	149位	40.7	49位	34.6	76位	37.9	48位	30.3	84位
行田市	9.5	478位	11.3	488位	6.5	674位	8.2	564位	8.5	533位
加須市	5.1	710位	11.1	494位	8.8	568位	7.0	637位	7.1	620位
上尾市	13.0	371位	12.2	457位	11.2	486位	12.4	418位	12.4	403位
桶川市	8.7	514位	9.3	562位	9.1	560位	7.5	605位	9.4	506位
北本市	3.1	860位	4.1	849位	4.2	844位	5.4	758位	3.4	887位

出典：地域ブランド調査 2010～2014（地域ブランド総合研究所）

## (5) 認知度

「当該自治体について良く知っている」を100点満点で聞いた結果です。さいたま市が50～70位台、熊谷市が100～200位台と突出しています。鴻巣市は500位台となっています。

1位：京都市(60.3点) 2位：名古屋市(60.1点) 3位：神戸市(59.1点)



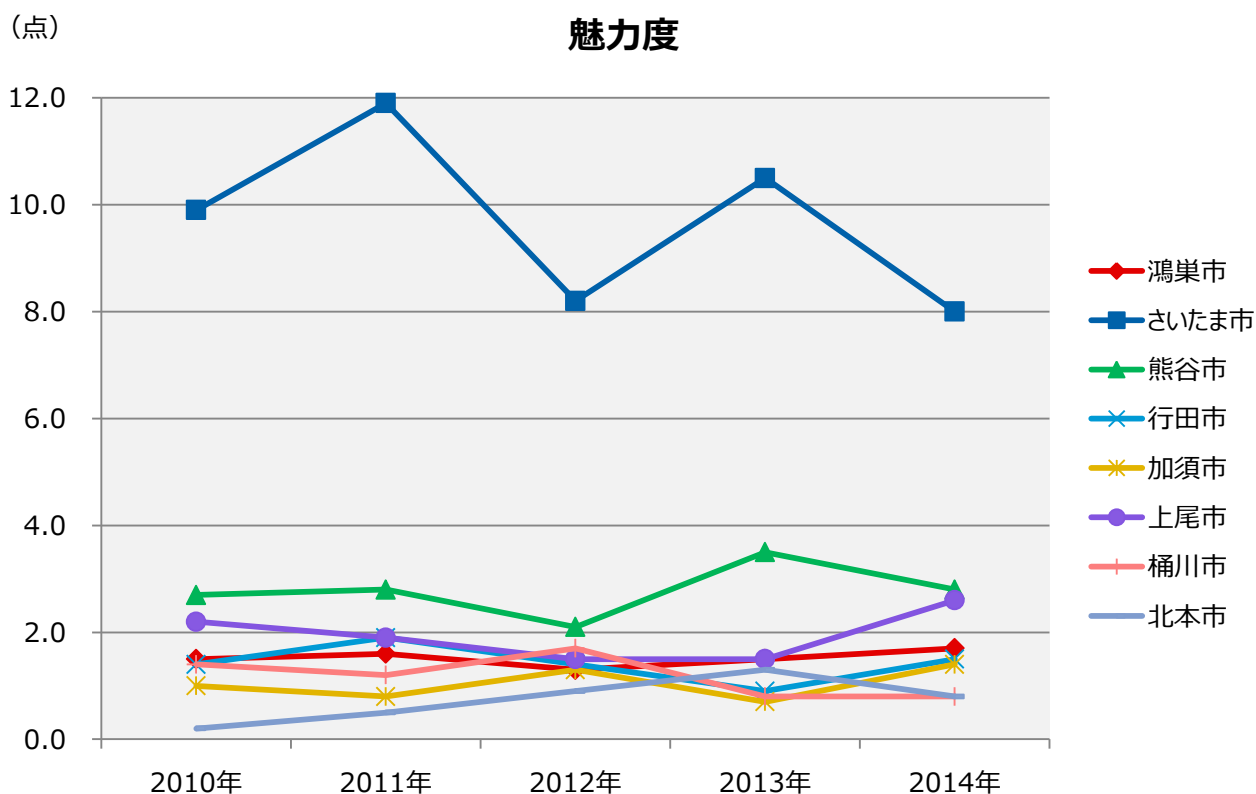
	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位
鴻巣市	16.0	554位	16.8	558位	17.2	553位	16.5	550位	16.0	546位
さいたま市	45.2	55位	44.2	74位	44.4	67位	44.3	57位	42.4	56位
熊谷市	34.0	185位	38.3	148位	36.2	177位	39.1	108位	33.6	178位
行田市	19.3	460位	19.5	492位	17.4	550位	17.9	513位	19.4	454位
加須市	10.2	726位	14.9	612位	13.4	644位	12.2	690位	13.9	615位
上尾市	24.2	356位	21.5	445位	22.4	411位	22.7	394位	21.9	387位
桶川市	19.6	457位	20.0	481位	21.0	447位	18.9	492位	18.2	490位
北本市	9.3	753位	9.8	771位	10.0	768位	10.2	757位	9.5	765位

出典：地域ブランド調査 2010～2014（地域ブランド総合研究所）

## (6) 魅力度

「当該自治体の魅力度を100点満点で聞いた結果です。比較都市すべてが15点未満となっています。さいたま市が200位台で突出しています。鴻巣市は700位台となっています。

1位：函館市(51.3点) 2位:札幌市(49.1点) 3位：京都市(48.0点)



	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位	点	順位
鴻巣市	1.5	753位	1.6	778位	1.3	851位	1.5	827位	1.7	758位
さいたま市	9.9	233位	11.9	217位	8.2	293位	10.5	224位	8.0	264位
熊谷市	2.7	570位	2.8	615位	2.1	715位	3.5	534位	2.8	576位
行田市	1.4	783位	1.9	731位	1.4	839位	0.9	937位	1.5	811位
加須市	1.0	858位	0.8	933位	1.3	851位	0.7	961位	1.4	829位
上尾市	2.2	631位	1.9	731位	1.5	817位	1.5	827位	2.6	612位
桶川市	1.4	783位	1.2	849位	1.7	790位	0.8	951位	0.8	932位
北本市	0.2	989位	0.5	973位	0.9	921位	1.3	873位	0.8	932位

出典：地域ブランド調査 2010～2014（地域ブランド総合研究所）

## VIII. 子育てグループインタビュー

### 1 調査目的

「鴻巣市まち・ひと・しごと総合戦略」「第6次鴻巣市総合振興計画」の策定にあたって、子育て中の市民15人から、市内での子育てのしやすさ、子育て環境への満足度と要望など、具体的なハード・ソフト面のニーズを聞き出して、実態と市民意識を把握し、まちづくりの課題を明らかにするものです。

### 2 調査概要

#### (1) 調査の対象

市内在住の市民15人(妊婦、子育て中の父親・母親)

#### (2) 調査方法

グループインタビュー（5人ずつの3グループ分け）で、90分ずつ

#### (3) 調査期間

平成27年12月13日

#### (4) 調査対象者

鴻巣市内に居住する15人の属性内訳は、以下のとおり。

【性別】母親12人、父親3人

【職業】有職者9人、専業主婦（無職）6人

【子ども】1人の子持ち（妊娠中を含む）：3人

2人の子持ち：8人

3人の子持ち：3人

5人の子持ち：1人

#### (5) 調査項目

①理想的な子育て ②現実の子育て ③理想と現実の子ども数 ④魅力的な子育て環境

⑤子育てで不安なこと・困っていること ⑥ほしい市民サービスなど

### 3 調査結果概要

子育て中の市民 15 人を（１）未就学児の親と、（２）就学児がいる親に分けて質問した結果、以下のような傾向がみられました。

#### （１）未就学児の親の場合

2人以上（2人以上の子どもが確定している妊娠中の方も含む）の子どもがいる家庭では、ご自身の年齢や肉体的な問題のほかに、経済的な理由を挙げて3人目の出産を躊躇しています。経済的理由については、漠然とした不安をもつ人もいますが、すでに学資保険の加入や貯金を始めている人もいました。

[乳幼児期の不安] ・おむつ代の費用が大きいこと ・幼稚園・保育園費用などの費用が大きいこと  
 ・救急医療・小児科を受けられないこと

[就学期の不安] ・高等教育（私立高校、大学への進学）の学費負担への不安

[日常生活の不安] ・遊び場（公園）が使いにくい

- ・休日に家族全員で遊ぶ場がないこと（近隣地区の北本、上尾、熊谷へ行っている）
- ・再就職活動や急用時の一時保育を受け入れ体制がないこと
- ・保育園への入所に関する不公平感があること

《満足していること》・鴻巣市の住宅環境・教育環境は、概ね良い評価

- ・子育て支援センターで相談できること、同世代の子同士で遊べることに満足
- ・地域ボランティア（通学路での誘導）に満足
- ・安心安全なまち“鴻巣”で子育てできること

図表Ⅷ-1 鴻巣市民の子育ての理想と現実（未就学児の親）

#### 若い世代へのメッセージ

- ☆子育ての楽しさを伝えたい
- ☆子育ての覚悟を伝えたい
- ☆男女共同参画で行う子育てが重要
- ☆子どもから学ぶことが多い

**理想的な子育て**

- > 子どもは多いほうがいい  
 ↔ 2人が理想
- > 同性の兄弟姉妹も大事
- > 兄弟2、4歳差が理想
- > 成長する姿を見られる生活

**現実の子育て  
 楽しさと大変さが  
 共存**

#### 出産を躊躇するわけ

- > 3人めは考えられない
- > 大学等の教育費用の負担増

**満足していること**

- 両親のサポート
- 子育て支援センターのサポート
- 地域のサポート
- 安全な環境



**不安・不満なこと**

- 日常のサポート（一時預かり保育）
- 病気のときのサポート
- 保育園、幼稚園の費用
- 再就職までのサポート

(2) 就学児童の親の場合

鴻巣市の学校教育については、「習熟度クラス」の実施、放課後の「学童クラブ」、「通学路でのボランティア」による安全見守りは他市にはない活動として市民に認知されています。ただし、学校教育に対する不安は大きく、学校内での「イジメ」や「学級崩壊」などの心配の種は多いようです。

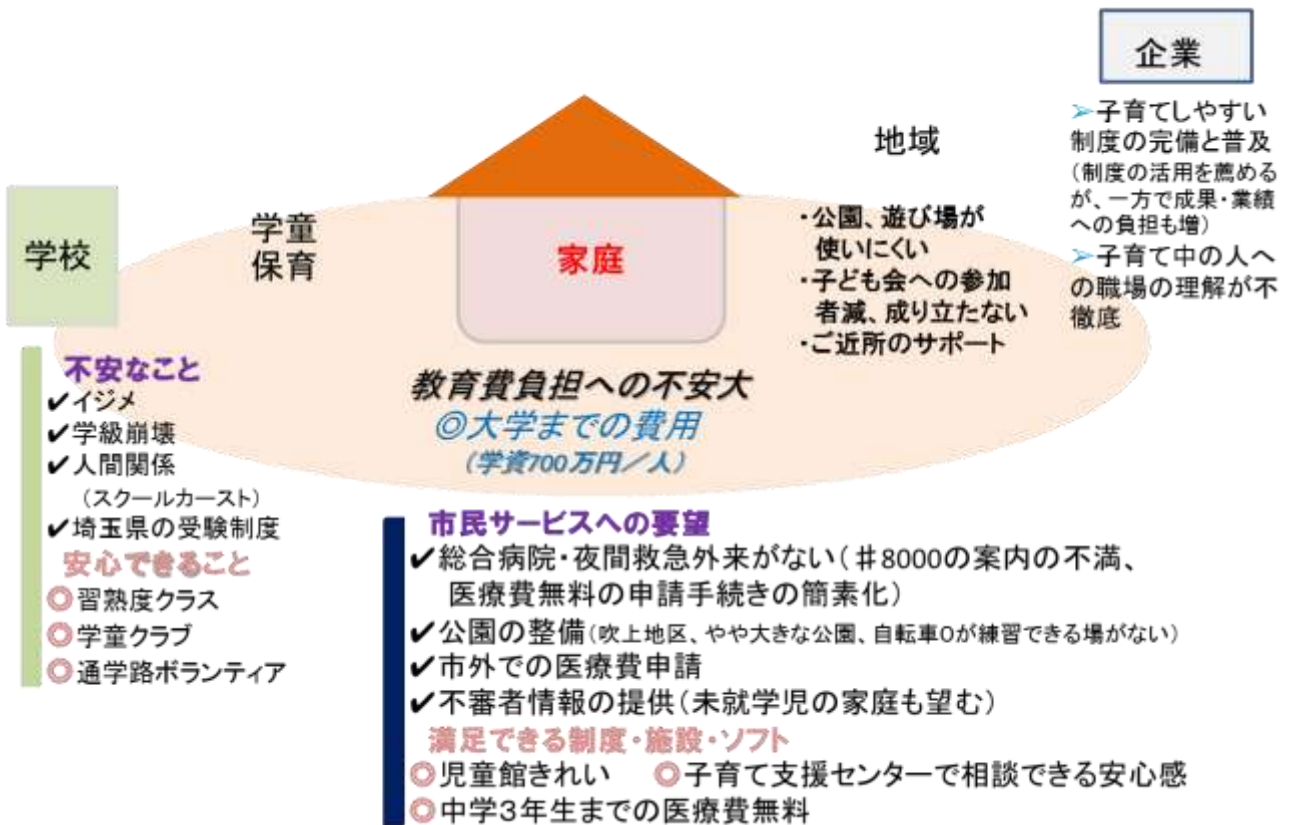
地域コミュニティにおいては、留守宅時の子どもを見守りあう近隣住民同士の良好な関係もあります。また、15歳までの医療費無料は概ね支持を得ています。

- [学校教育への不安]
- ・習熟度はよいが、それによるカリキュラムの後れが一部にあること
  - ・イジメがあること
  - ・学級崩壊があること
  - ・学級内の複雑な人間関係があること（スクールカースト）
  - ・わかりにくい埼玉県の高校受験

- [地域環境／活動への不安]
- ・居住地域近辺での公園が使いにくいこと（スペースが狭い、自転車が乗れない）
  - ・子ども会への参加者が減り、会そのものの存立が危ういこと

- [生活全般への不安]
- ・総合病院による診療、夜間救急外来への対応がないこと
  - ・緊急電話「#8000」が繋がらないこと
  - ・15歳以下の医療費無料の申請手続きが煩雑なこと
  - ・「不審者情報の提供」を未就学児の家庭に提供してほしい

図表 X - 2 鴻巣市民の教育環境



## IX. 不動産会社ヒアリング

### 1 調査目的

「鴻巣市まち・ひと・しごと総合戦略」、「第6次鴻巣市総合振興計画」の策定にあたって、より住みやすい市にしていくために、土地開発や市民の居住動向に詳しい、市内に店舗をおく不動産会社3社の協力をえて、転入者、転出者の生の声を聞き、まちづくりの課題を明らかにしていきます。

### 2 調査概要

#### (1) 調査の対象（市内で営業する3社の不動産会社）

- ① 株式会社エーティーホームズ、
- ② 株式会社佐藤不動産
- ③ 三国ホームズ株式会社

#### (2) 調査方法

個別インタビューによる聞き取り調査

#### (3) 実施日

平成27年年11月24日、12月3日

### 3 調査結果概要

#### (1) 鴻巣市に転入の住宅購入者

転入転出アンケートによると、多くの市民は移転の理由に、①買い物、②交通機関の利便性を上位に挙げる人が多数を占めています。しかし、最近の調査ではそのほかの要因にも着眼している様子が見え始めるため、その要因を探っていき、地域の特性（強み、弱み）をより訴求し、鴻巣市への転入を促進していきます。

##### 《鴻巣の強み》

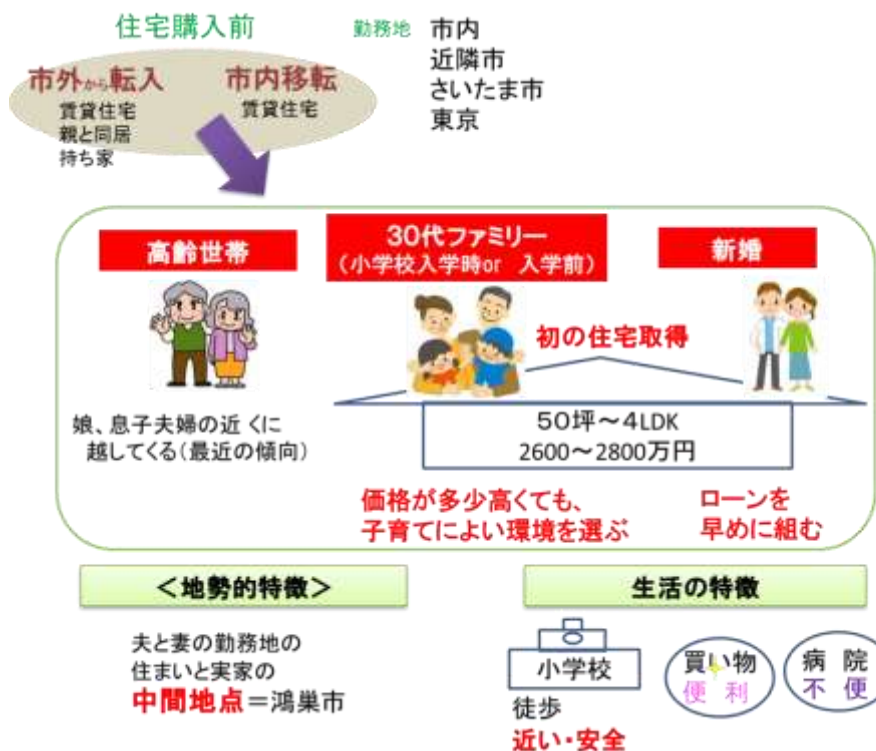
- ① 立地：生活の便がよい（アピタ、ドンキホーテ）、交通の便がよい（JR、東松山インターチェンジ）、都市圏と快適な居住との中間地点で手ごろな戸建て・マンションがある、犯罪が少ない、図書館・映画館などが充実、駅前に賑わい
- ② 自然環境：自然が残る静か
- ③ 生活環境：犯罪が少ない、子育て関連手当が充実

##### 《鴻巣の弱み》

- ① 立地：総合病院がない（夜間、救急対応）、公園は多いが使いづらい
- ② 生活環境：幼稚園の費用が高い



図表XI-1 鴻巣市の住宅購入者像



(2) 賃貸住宅入居者像

転入者のうち、賃貸マンションへ入居している人は、今後市内で定住する可能性があるため、その実態も今回の調査に含まれています。

就職や転勤で市内に越してきた単身者、シングルマザーや新婚家庭が多いということでした。

図表XI-2 鴻巣市の賃貸住宅入居者像

